

檀原市スポーツ施設計画

(案)

令和●年●月
檀原市

目 次

第1章 計画の概要	1
1. 背景と目的	1
2. 人口動向と将来推計	2
3. 財政状況	3
4. 計画の位置づけ	3
5. 対象施設の設定	5
6. 計画期間	7
7. 計画策定の流れ	7
第2章 スポーツ施設の現況評価	9
1. 基本情報の把握	9
2. 施設の現況評価	11
第3章 スポーツ施設的环境評価	24
1. スポーツ施設に関する政策方針の検討	24
2. スポーツ施設的环境に関する情報の収集・整理	26
3. スポーツ施設の基本方針・適用手法に関する検討	31
第4章 個別施設計画の検討	40
1. 適用可能な手法の選定	40
2. 個別施設計画のとりまとめ	44
第5章 スポーツ施設計画の実施について	64
1. 推進・取組体制	64
2. 情報共有	64
3. フォローアップの実施方針	64
別冊	
検討資料編1 対象施設基本情報	
検討資料編2 対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧表	
検討資料編3 檀原市スポーツ施設のあり方に関するアンケート調査結果報告書	
検討資料編4 檀原市スポーツ施設の利用に関するアンケート調査結果報告書	
検討資料編5 パブリックコメント結果	

第1章 計画の概要

1. 背景と目的

我が国においては、スポーツ活動の発展、スポーツ人口の増加及び国際化の進展など、スポーツを取り巻く社会状況の変化を受け、その持つ意義や効果等を明示するとともに、スポーツ立国を目指し、国家戦略としてスポーツ施策を推進する「スポーツ基本法」を平成23(2011)年に制定しました。

このスポーツ基本法の第12条では、スポーツ施設の整備について、国及び地方公共団体の責務として、国民が身近にスポーツに親しむことができるようにするとともに、スポーツ施設の整備、利用者の需要に応じたスポーツ施設の運用の改善などについて、必要な施策を講ずるよう努めなければならないと規定されています。

本市においては、『市民のだれもがスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らせるまち「かしはら」』を基本理念として、平成27(2015)年3月に「櫃原市スポーツ推進計画」を策定し、今後の施策として、施設や機材の適切な改修、既存の運動・スポーツ施設の有効利用の促進、軽運動・軽スポーツ・レクリエーション活動の普及促進などを位置づけています。

一方で、全国的に少子高齢化の進展による人口減少社会が到来し、社会情勢が急激に変化している中で、本市においても、人口は減少すると予想されており、これに伴う税収の減少や社会福祉関連経費の増加が見込まれています。また、市民ニーズは多様化・高度化しており、今後はより効率的な行政サービスの提供やコスト削減が求められ、行政サービスを「量の確保」から「質の向上」へと転換させることが重要となっており、行政サービスを提供する場であり、日々の暮らしを支える重要なライフラインである公共施設等についても、限られた財源の中で効率的・効果的な維持保全や運営が求められます。

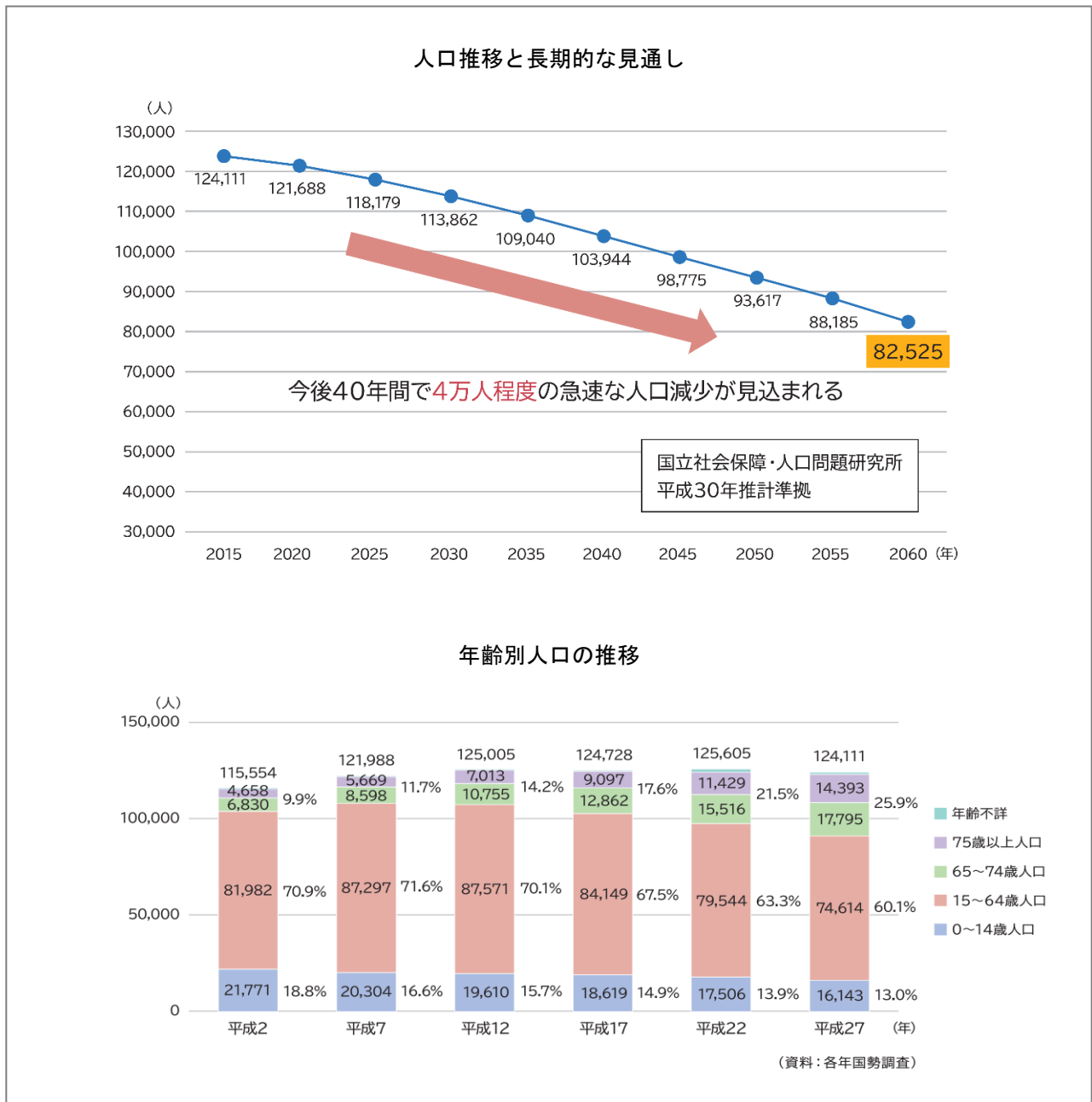
このような状況の中で、本市では、所有している公共施設等の状況を把握し、限られた財源の中で総合的・長期的視点に立って適切な維持保全・企画・活用を行うため、平成26年度から全庁横断的な情報の一元管理に取り組んでおり、平成28(2016)年3月に「ファシリティマネジメント基本方針」・「公共施設カルテ」・「公共施設白書」を作成し、平成28(2016)年9月には、公共施設等の今後の総合的かつ計画的な管理の推進に向けた基本的な方針を明らかにし、市民と共有するために「櫃原市公共施設等総合管理計画」を策定しました。同計画は、今後の本市のまちづくりにおいて個別具体の公共施設等のあり方を検討していく際の道標となるもので、施設類型別の方針として、スポーツ施設についても今後の方向性が示されています。

こうした背景を踏まえ、本市におけるスポーツ環境の持続的な提供、スポーツを活かしたまちづくりの推進のために、スポーツ施設のあり方や配置、有効活用について検討を行い、スポーツ施設の安全性・持続性を確保するための「櫃原市スポーツ施設計画(以下、本計画)」を策定しました。本計画は、スポーツの実施状況、スポーツ施設の老朽度や利用度等の状況を把握し、安全性、機能性、経済性、政策優先度の観点から評価を行い、今後の基本方針と適用手法の整理、個別施設計画を作成して、計画的に施設整備、保全等を進めていくこととしています。今後、本市では、本計画に基づく整備、保全等の実施により、スポーツの振興に向けて、スポーツ施設における効果的・効率的な行政サービスを将来にわたって継続的に提供していきます。

2. 人口動向と将来推計

本市の人口は、平成 12（2000）年頃までは順調に増加してきましたが、その後横ばいとなり、平成 22（2010）年頃をピークにその後は減少に転じています。現在の人口は、約 12 万 1 千人ですが、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2060 年には約 8 万 2 千人となっており、今後 40 年間で 4 万人程度の急速な人口減少が見込まれています。

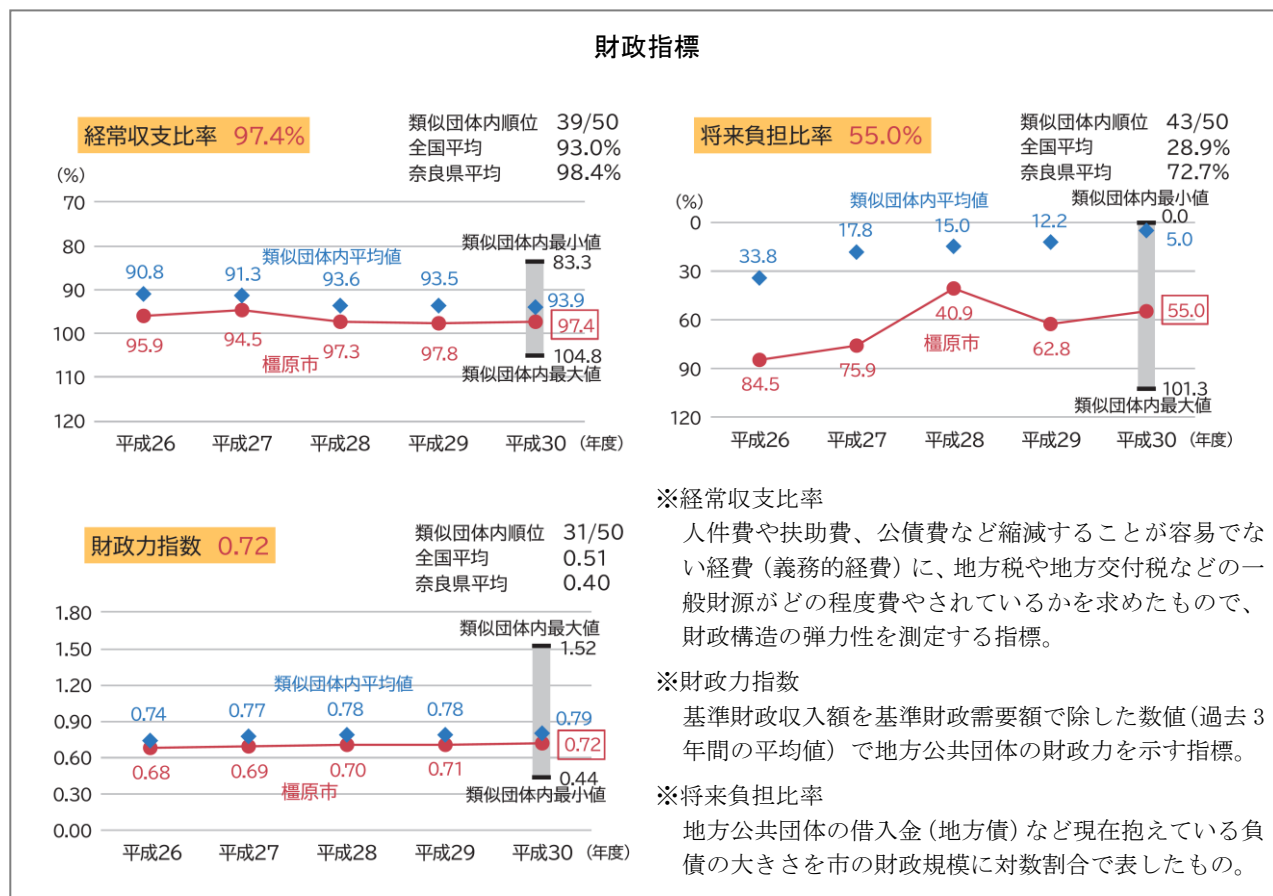
また、年齢構成別の人口推移をみると、年少人口（15 歳未満人口）と生産年齢人口（15 歳以上 65 歳未満人口）がともに減少する中で、老年人口（65 歳以上人口）は年々増加傾向になり、平成 27（2015）には、老年人口割合が 25.9%を占めており、人口の高齢化が着実に進行しています。



出典：檀原市第4次総合計画（令和3年3月/檀原市）

3. 財政状況

本市の経常収支比率（平成30年度）は97.4%で、全国の類似50市（人口規模や産業構造が類似の都市）中39位と、相対的に財政構造の弾力性が低くなっています。本市の財政力指数は0.72で、同じく50市中31位と、相対的に財政力が低くなっています。また、本市の将来負担比率は55.0%で、同じく50市中43位と、相対的に将来財政を圧迫する可能性が高くなっています。財政状況の改善のため、今後とも、健全な財政運営に向けた行財政の効率化や既存事業の見直し、歳入確保などに努める必要があります。



出典：橿原市第4次総合計画（令和3年3月/橿原市）

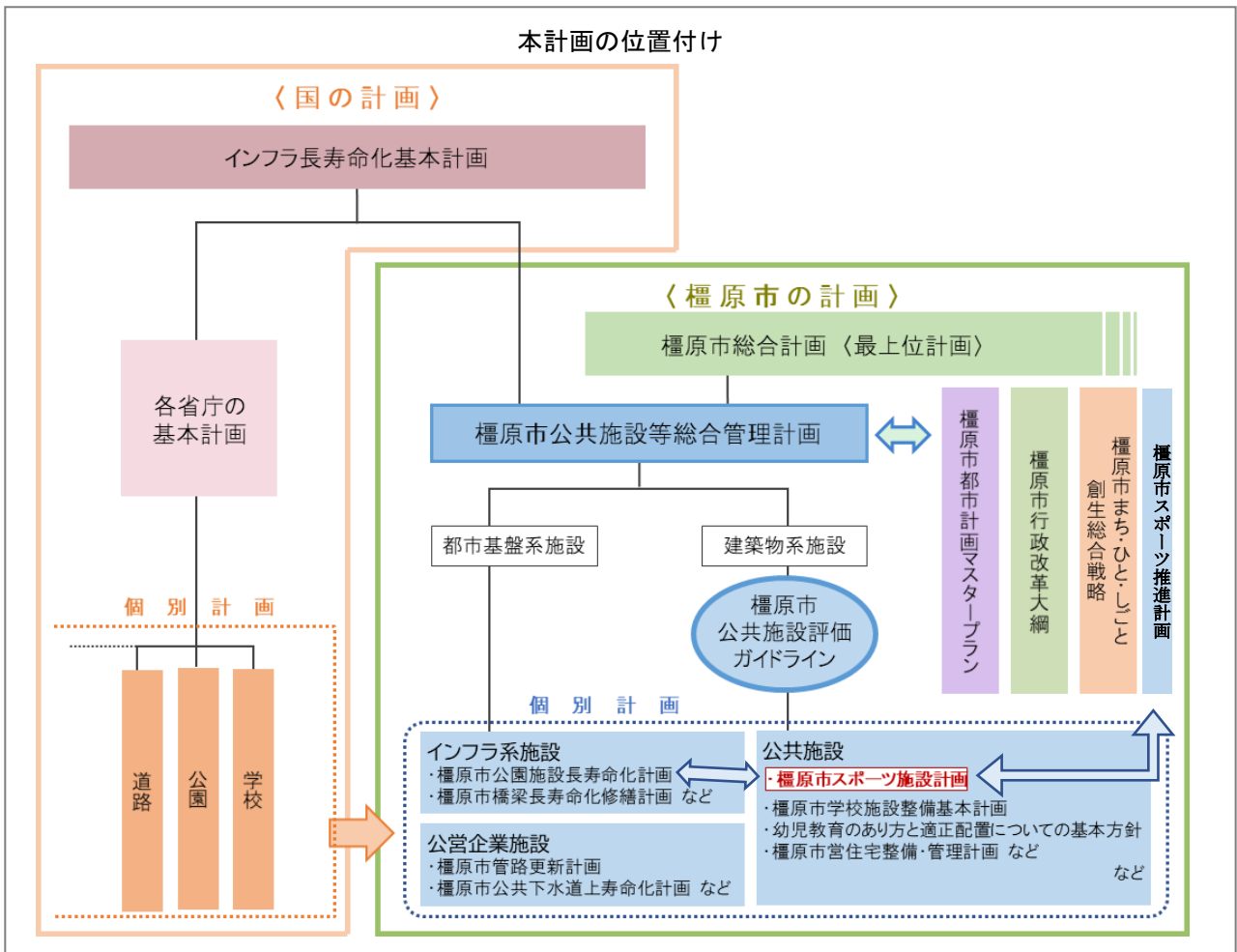
4. 計画の位置づけ

本計画は、「橿原市公共施設等総合管理計画」に基づく施設類型別の「個別計画」に位置づけられ、総合管理計画における施設類型別の管理に関する基本方針を踏まえた、施設のあり方に関する具体的な方向性を示すものです。

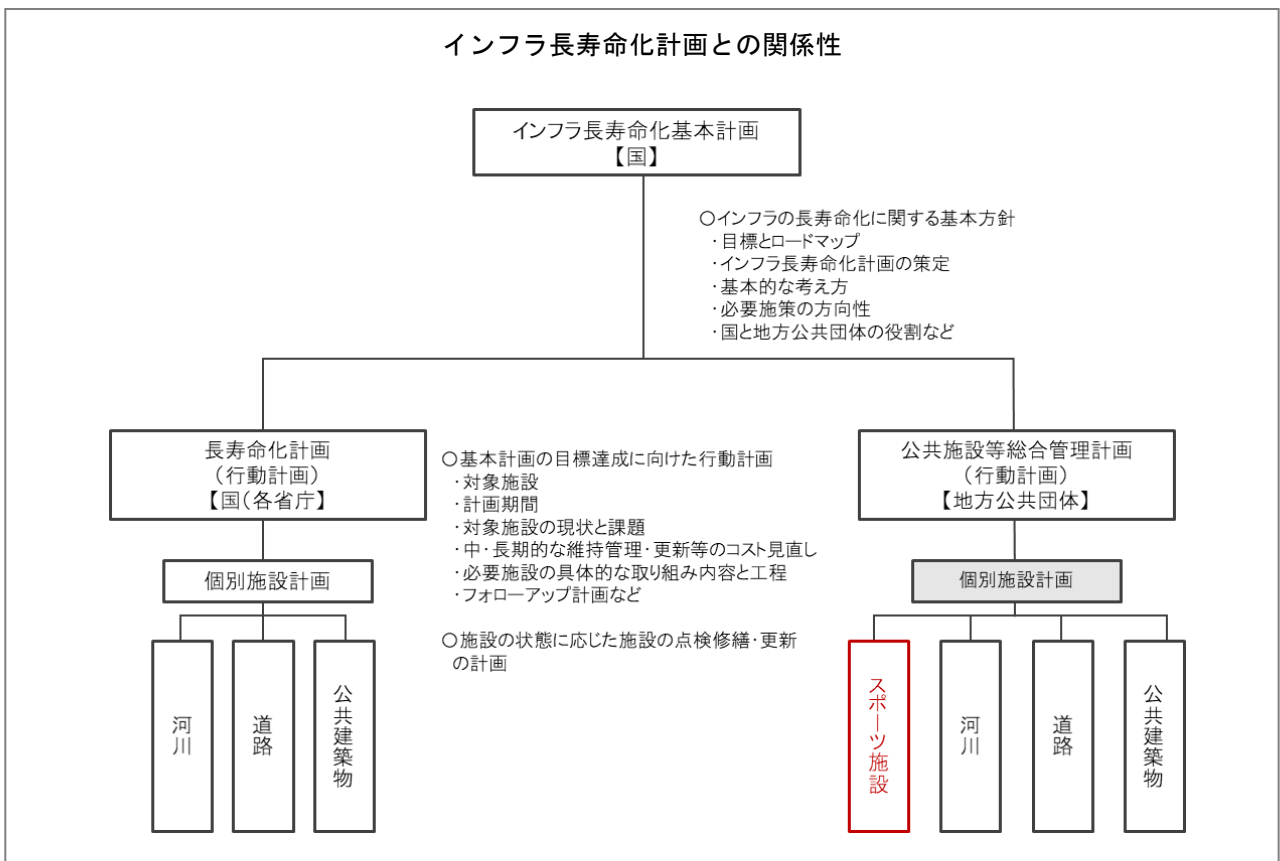
本計画の検討にあたっては、総合管理計画の上位計画である「橿原市第4次総合計画」、関連計画である「橿原市スポーツ推進計画」や各種スポーツ関連施策を反映するものとします。

なお、この総合管理計画および個別計画は、国の関係省庁連絡協議会が示した「インフラ長寿命化基本計画」に基づく「行動計画」および「個別施設計画」としての位置づけも併せ持ちます。

本計画の位置付け



インフラ長寿命化計画との関係性



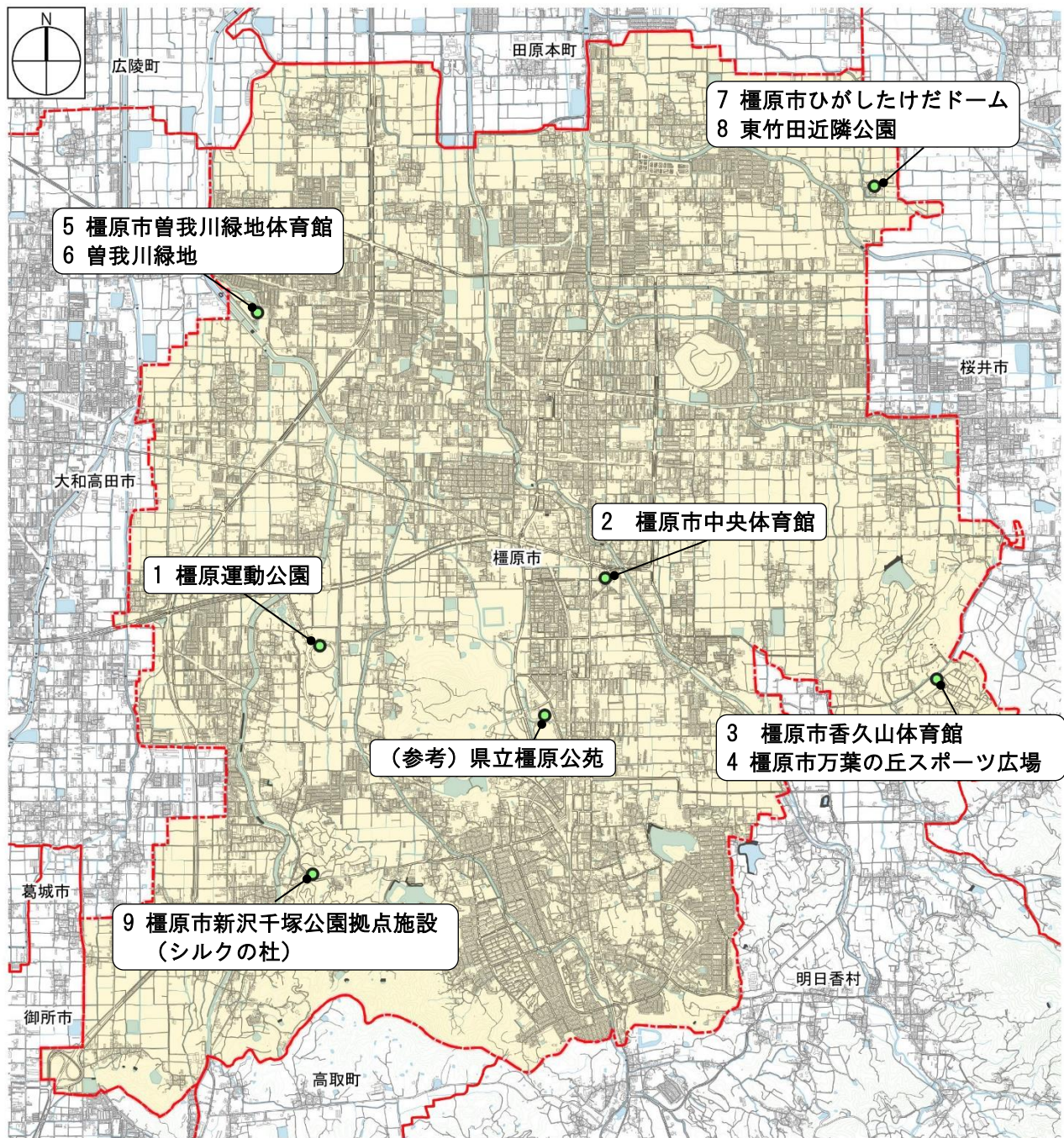
5. 対象施設の設定

本計画の対象とする施設は、次に掲げる施設とします。対象施設の位置は、次頁の図のとおりです。

■対象施設の概要

施設名	施設内容	備考
1 榎原運動公園	①総合プール	50m公認プール、25mプール、レジャープール等
	②軟式野球場	
	③ソフトボール場	
	④硬式野球場	
	⑤テニスコート	クラブハウス含む
	⑥多目的グラウンド (ヤタガラスフィールド榎原)	
	⑦屋根付運動場	
2 榎原市中央体育館	①アリーナ	
3 榎原市香久山体育館	①アリーナ	
	②トレーニングルーム	
4 榎原市万葉の丘スポーツ広場	①テニスコート	
	②アーチェリー・弓道(遠的)場	
	③パターゴルフ場	
5 榎原市曾我川緑地体育館	①アリーナ	
	②武道場	
	③トレーニングルーム	
	④スポーツスタジオ	
6 曾我川緑地	①テニスコート	
	②多目的グラウンド	
7 榎原市ひがしたけだドーム (かしはらグリーンドーム)	①アリーナ	
8 東竹田近隣公園	①多目的広場	
9 榎原市新沢千塚公園拠点施設 (シルクの柱)	①温浴施設	
	②トレーニングルーム	
	③ダンス教室	

■対象施設の位置図



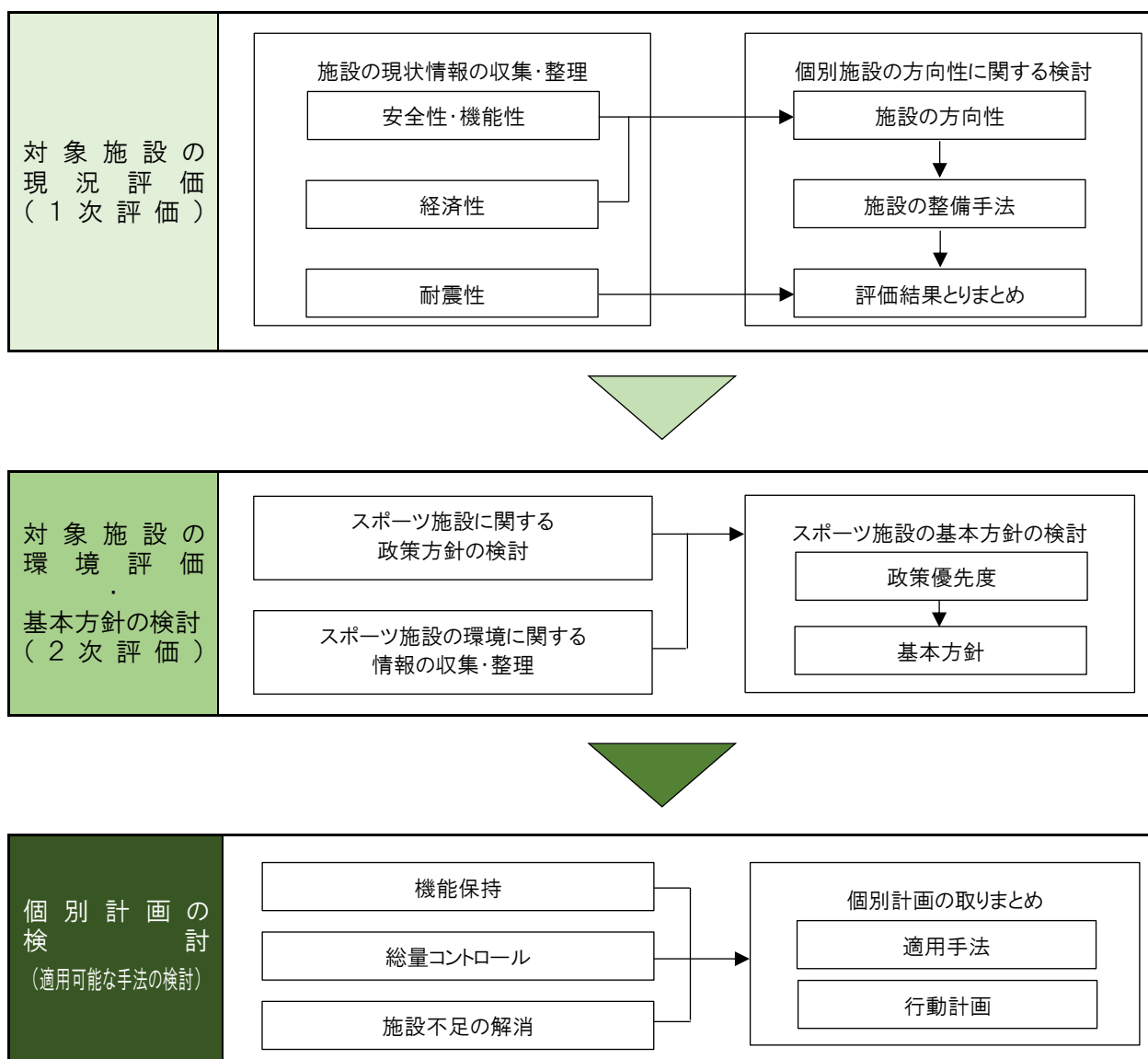
6. 計画期間

本計画は、令和4（2022）年度から令和13（2031）年度までの10年間の計画とし、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて柔軟に計画の見直しを行うこととします。ただし、中長期的な視点から検討するために30年間の計画期間をとりまとめます。

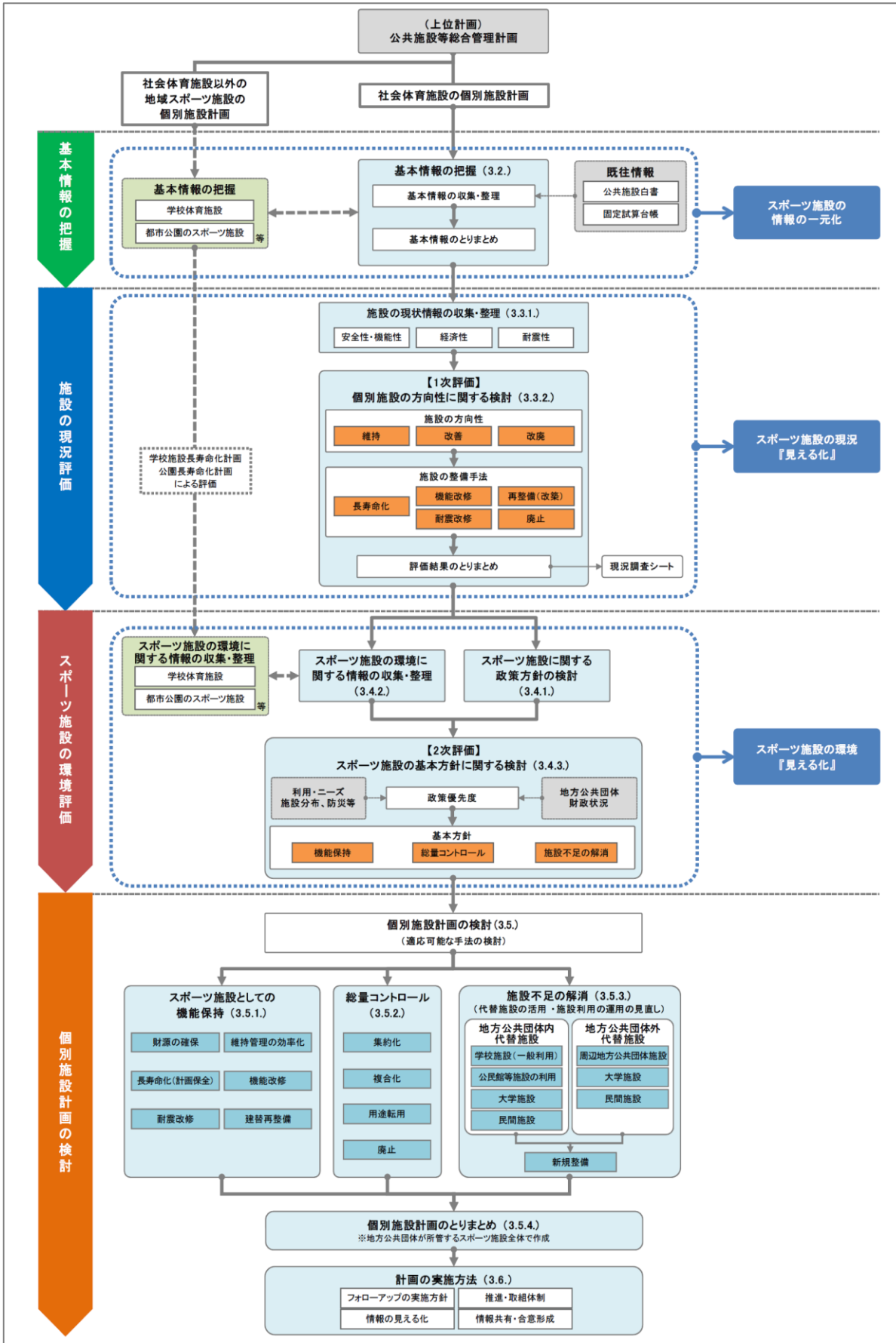
7. 計画策定の流れ

本計画は、スポーツ庁が示す「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（平成31年4月一部改訂）」の計画策定の手順を踏まえ、次のフローにより計画を策定します。

■ 計画策定フロー



(参考) スポーツ施設のストック適正化計画の計画策定の手順



出典：スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（平成31年4月一部改訂/スポーツ庁）

第2章 スポーツ施設の現況評価

1. 基本情報の把握

本計画の対象となるスポーツ施設の基本情報を把握し、整理を行った結果は、次の表のとおりです。詳細については、検討資料編1「対象施設基本情報」をご覧ください。

■基本情報一覧

No	施設名		場所	構造	供用開始年度	面積	施設規模等	運営形態
1	檀原運動公園	総合プール	雲梯町 323-2	-	S55～	*1 資料編参照	*1 資料編参照	指定管理
		軟式野球場		-	S62	9,652 m ²	1面 (87-100m)	指定管理
		ソフトボール場		-	S62	5,302 m ²	1面 (73-75m)	指定管理
		硬式野球場		-	H10	23,970 m ²	1面 (100-122m)	指定管理
		テニスコート		-	H6～	9,269 m ²	9面	指定管理
		多目的グラウンド (ヤタガラスフィールド 檀原)		-	R1	22,080 m ²	2面 (各 120-78m)	指定管理
		屋根付運動場		非木造	H23	1,485 m ²	1面 (50-30m)	指定管理
2	檀原市中央体育館	アリーナ	小房町 11-1	非木造	S46	3,654 m ²	35m×23.2m	*2 直営
3	檀原市香久山体育館	アリーナ	南山町 624	非木造 (一部木造)	H5	4,770 m ²	31m×31m	指定管理
		トレーニング ルーム			H5	上記に 含む	298 m ²	指定管理
4	檀原市万葉の 丘スポーツ広 場	テニスコート	戒外町 43-1	-	H8	2,928 m ²	6面	指定管理
		アーチェリー・弓 道(遠的)場		-	H8	1,950 m ²	6レーン 全長 60m	指定管理
		パターゴルフ場		-	H8	5,671 m ²	9ホール 全長 295m	指定管理
5	檀原市曾我川 緑地体育館	アリーナ	曾我町 1212	非木造	H12	3,089 m ²	36m×24m	指定管理
		武道場			H12	上記に 含む	29m×15m	指定管理
		トレーニング ルーム			H12	上記に 含む	252 m ²	指定管理
		スポーツスタジオ			H12	上記に 含む	12m×6m	指定管理

No	施設名		場所	構造	供用開始 年度	面積	施設規模等	運営 形態
6	曽我川緑地	テニスコート	曲川町 958-3	-	H11	976 m ²	2 面	指定 管理
		多目的グラウンド		-	H11	11,600 m ²	1 面	指定 管理
7	橿原市ひがし たけだドーム <small>(かしはら グリーンドーム)</small>	アリーナ	東竹田町 124-1	非木造	H22	1,465 m ²	38m×23m	指定 管理
8	東竹田近隣公 園	多目的広場	東竹田町 124-1	-	H20	3,300 m ²	1 面	指定 管理
9	橿原市新沢千 塚公園拠点施 設 (シルクの杜)	温浴施設	川西町 855-1	非木造	H28	4,127 m ²	202 m ²	*2 直営
		トレーニング ルーム			H28	上記に 含む	147 m ²	*2 直営
		ダンス教室			H28	上記に 含む	110 m ²	*2 直営

*1 施設内に複数の建築物があるため、記載省略

*2 令和4年度から指定管理を予定

2. 施設の現況評価

対象施設について、安心・安全・快適な利用に必要となる施設の性能を把握するため、基礎情報を収集・整理し、その情報に基づき個別施設の方向性および整備手法を検討し、その評価結果をとりまとめました。

(1) 施設の現況情報の収集・整理

施設の現状を明らかにするために、「安全性・機能性」「耐震性」「経済性」の分析に資する基礎情報を収集・整理しました。詳細については、検討資料編2「対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧表」をご覧ください。

①安全性・機能性に関する基礎情報

「安全性・機能性」の分析のための基礎情報を収集し、それぞれの項目について劣化状況（健全度状況）や対策の実施状況等について整理しました。

[安全性・機能性に関する基礎情報の収集項目]

項目		細目
安全性	経過年数	・ 供用開始年度からの経過年数
	躯体の安全性	・ 躯体の劣化状況（剝離、ひび割れ等の損傷）
	外被性能	・ 屋根および外壁等からの漏水の有無 ・ 屋根の劣化状況（勾配屋根材、防水材の劣化） ・ 外壁材の劣化状況（剝離、落下の危険性の有無）等
機能性		・ 内装の劣化状況（天井、壁、床、建具等） ・ 附帯設備（トイレ、シャワー更衣室等）の整備状況 ・ 設備機器、配管等の劣化状況 ・ バリアフリー対応の状況 等
法令への適合状況		・ 建築基準法：特殊建築物等の定期調査報告、建築設備の定期調査報告 等 ・ 消防法：消防用設備等点検の結果 ・ 電気事業法：自家用電気工作物の定期点検
屋外スポーツ施設の状況		・ 舗装の健全度（クレイ系、芝生、人工芝等） ・ 附帯施設の健全度（フェンス、ダグアウト、観覧席、外周壁） 等
施設の安全対策		・ 屋内スポーツフロアの状況（すべり転倒、床板割れ、床金物の緩み等） ・ AED等の設置状況 等

②経済性に関する基礎情報

「経済性」の分析のための基礎情報として、コスト（更新・修繕費、運営維持管理費）および使用料等の収入に関する情報について整理しました。

[経済性に関する基礎情報の収集項目]

項目	細目
更新修繕費	今後の修繕・建替えに係るコスト
運営維持管理費	指定管理料等
収入	スポーツ施設の利用料金等

③耐震性に関する基礎情報

対象となる施設のうち建築物については、「耐震性」に関する情報について整理しました。

[耐震性に関する基礎情報の収集項目]

項目	細目
耐震性の有無	・ 1981年以前の耐震基準（旧耐震基準）
	・ 耐震改修の実施の有無

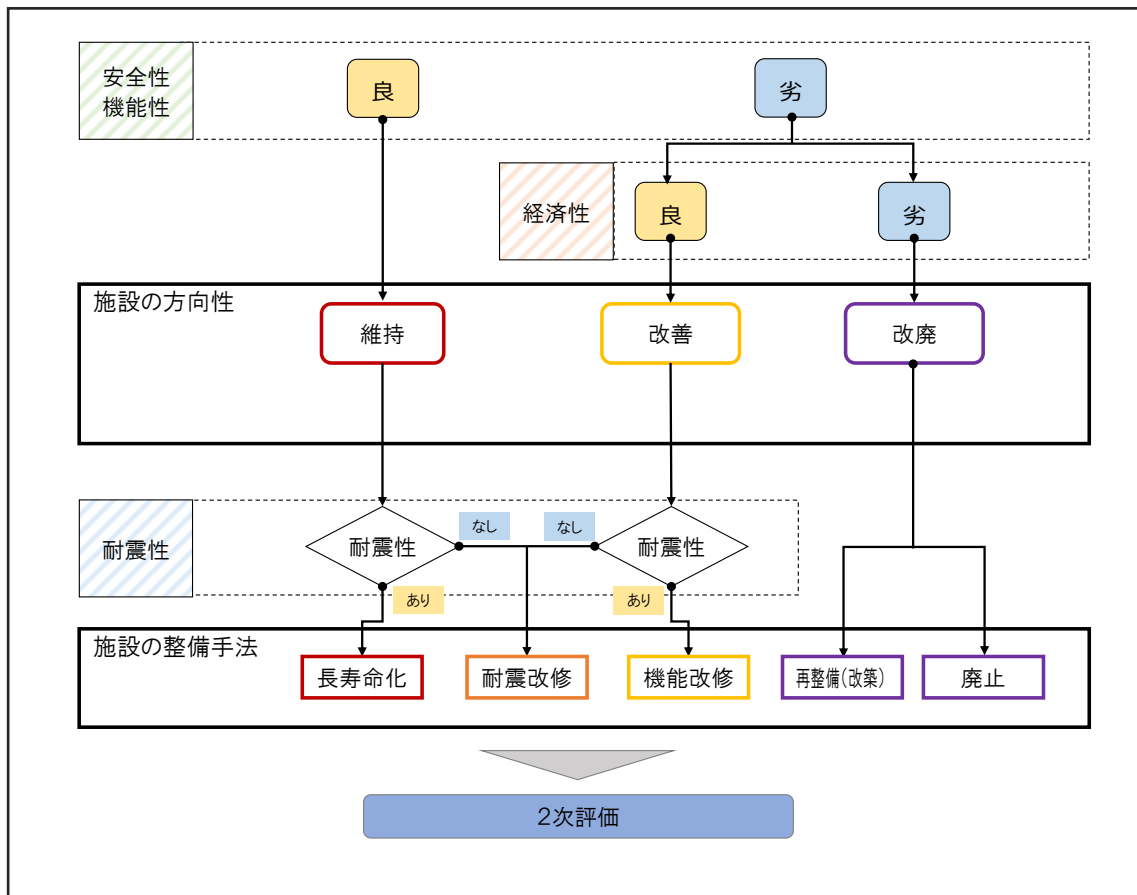
(2) 施設の現状情報に基づく個別施設の方向性に関する検討

収集した情報をもとに施設の現状を評価し、その評価結果をもとに個々の施設の方向性および整備手法を検討しました。

個別施設の方向性の検討【1次評価】は、スポーツ施設の安心・安全な利用のために必要となる最小限の基礎情報に基づき、施設の方向性等を簡易的に検討するものです。

この【1次評価】を行ったあと、後に示す「スポーツ施設の基本方針に関する検討【2次評価】」を行い、個別計画を立案します。

■個別施設の方向性の検討（1次評価のフローチャート）



①施設の方向性の検討

個々の施設に対して、施設の方向性（「維持」「改善」「改廃」）の検討を行いました。

「安全性・機能性」の評価

- ・ 個々の施設に対し現地調査を実施し、「基礎情報」として項目分類された「安全性」「機能性」「法令への適合状況」「屋外スポーツ施設の状況」「施設の安全対策」の情報を基に、「安全性・機能性」について「良」又は「劣」の評価を行いました。

[安全性・機能性の評価の考え方]

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に劣化・不具合等の事象が確認されない。 ・ 部分的な劣化・不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理および経過観察により対応）。 ・ 法定点検での是正報告がない、又は是正事項が既に改善されている（改善予定も含む）。 ・ 施設の安全対策がなされている。 	→良
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的な劣化・不具合等、もしくは著しい劣化・不具合等の事象が確認され、全面的な補修もしくは改修が必要である。 ・ 劣化・不具合等の事象により、重大な事故、施設の利用制限、又は緊急に補修もしくは改修が必要である。 ・ 法定点検での是正報告があり、是正が長期間放置されている、もしくは重大な事故、施設の利用制限が想定される。 ・ 重大な事故の恐れがある安全に関する対策が実施されていない。 	→劣

「経済性」の評価

- ・ 安全性・機能性の評価において「劣」と評価された施設について、「経済性」に関する評価を行います。

[経済性の評価の考え方]

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕コスト、維持管理コストの発生が標準よりも少ない。 ・ 収入が多く、今後も施設利用が見込める。 ・ 維持管理コストが多く、収入も少ない施設であるが、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がある。 	→良
<ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕コストおよび維持管理コストが多く、収入も標準よりも少ない施設で、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がない。 ・ 相対的、もしくは目標値に対して、著しく状況が悪い。 	→劣

②施設の整備手法の検討

施設の方向性が「維持」または「改善」となった施設は、「耐震性」の評価を行い、施設の整備手法について検討を行います。

[施設の方向性及び整備手法の概要]

方向性	整備手法	内容
維持	長寿命化	計画的に改修等の保全を行い、現在の施設をより長く使用する。
改善	耐震改修	地震に対する安全性向上を目的に改修する。
	機能改修	経年劣化への対応を目的に改修する。
改廃	再整備（改築）	現状の施設を解体し、現地もしくは別の敷地に新たに施設を整備する。
	廃止	施設を解体・撤去する。

③1 次評価結果のとりまとめ

対象施設について、施設の方向性および整備手法の評価を以下のとおり整理しました。詳細については、検討資料編2「対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧表」をご覧ください。

No	施設名	安全性・機能性	経済性	施設の方向性	耐震性	施設の整備手法		
1	檀原運動公園	総合プール (レジャープール)	劣	劣	改廃	有	施設の方向性評価が「改廃」であり、「再整備」若しくは「廃止」とする。	再整備 又は廃止
		総合プール (競技用プール)	劣	劣	改廃	有	施設の方向性評価が「改廃」であり、「再整備」若しくは「廃止」とする。	再整備 又は廃止
		軟式野球場	劣	良	改善	対象外	施設の方向性評価が「改善」であり、「機能改修」とする	機能改修
		ソフトボール場	劣	良	改善	対象外	施設の方向性評価が「改善」であり、「機能改修」とする	機能改修
		硬式野球場	良	良	維持	対象外	施設の方向性評価が「維持」であり、「長寿命化」とする	長寿命化
		テニスコート	良	良	維持	対象外	施設の方向性評価が「維持」であり、「長寿命化」とする	長寿命化
		多目的グラウンド (ヤタガラスフィールド檀原)	良	良	維持	対象外	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性は施設内容から評価対象外と考え、「長寿命化」とする	長寿命化
		屋根付運動場	良	良	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性能を備えた施設であることから「長寿命化」とする	長寿命化
2	檀原市中央体育館	劣	劣	改廃	有	施設の方向性評価が「改廃」であり、建築物等は耐震性能を備えているものの、「再整備（改築）」若しくは「廃止」が妥当と考える	再整備 又は廃止	
3	檀原市香久山体育館	アリーナ	良	良	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性能を備えた施設であることから「長寿命化」とする	長寿命化
		トレーニングルーム	良	劣	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、「長寿命化」とする	長寿命化

No	施設名	安全性・機能性	経済性	施設の方向性	耐震性	施設の整備手法		
4	橿原市万葉の丘スポーツ広場	テニスコート	良	良	維持	対象外	施設の方向性評価が「維持」であり「長寿命化」とする	長寿命化
		アーチェリー・弓道（遠的）場	良	劣	維持	対象外	施設の方向性評価が「維持」であり「長寿命化」とする	長寿命化
		パターゴルフ場	良	劣	維持	対象外	施設の方向性評価が「維持」であり「長寿命化」とする	長寿命化
5	橿原市曾我川緑地体育館	アリーナ	良	良	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性能を備えた施設であることから「長寿命化」とする	長寿命化
		武道場	良	良	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性能を備えた施設であることから「長寿命化」とする	長寿命化
		トレーニングルーム	良	劣	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、「長寿命化」とする	長寿命化
		スポーツスタジオ	良	良	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性能を備えた施設であることから「長寿命化」とする	長寿命化
6	曾我川緑地	テニスコート	良	良	維持	対象外	施設の方向性評価が「維持」であり「長寿命化」とする	長寿命化
		多目的グラウンド	良	良	維持	対象外	施設の方向性評価が「維持」であり「長寿命化」とする	長寿命化
7	橿原市ひがしたけだーム（かしはらグリーンドーム）	アリーナ	良	良	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性能を備えた施設であることから「長寿命化」とする	長寿命化
8	東竹田近隣公園	多目的広場	良	良	維持	対象外	施設の方向性評価が「維持」であり「長寿命化」とする	長寿命化
9	橿原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）	温浴施設	良	良	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性能を備えた施設であることから「長寿命化」とする	長寿命化
		トレーニングルーム	良	良	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性能を備えた施設であることから「長寿命化」とする	長寿命化
		ダンス教室	良	良	維持	有	施設の方向性評価が「維持」であり、耐震性能を備えた施設であることから「長寿命化」とする	長寿命化

【施設の方向性および整備手法の評価 総括】

施設 1	榎原運動公園	
施設 1 - 1	総合プール	
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体（構造物・設備機器）に著しい劣化が確認される。 施設利用時の安全確保には、全面的な補修、改修が必要。 	
	安全性・機能性評価 ⇒	レジャープール 劣 競技用プール 劣
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化により修繕費が多大。 2042 年を総合プール建替時期とすると、レジャープール・競技用プールを合わせた今後の修繕費は、概算で 1,148,031,000 円。 1 年あたりでは 57,401,000 円となる。 利用料収入は減少傾向で、減少幅も大きい。 平成 28 年度の 83,125,000 円から令和元年度の 61,191,000 円に減少。 管理運営に係る支出と利用料収入の差額が多大。 令和元年度の総合プール関連の指定管理者の支出は 99,190,000 円に対して、利用料収入は 61,191,000 円。 	
	経済性評価 ⇒	レジャープール 劣 競技用プール 劣
施設の方向性	レジャープール 改廃	
	競技用プール 改廃	
耐震性	有	
施設の整備手法	レジャープール 再整備又は廃止	
	競技用プール 再整備又は廃止	

施設 1 - 2	軟式野球場	
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> 供用開始から 30 年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される。 グラウンドの水はけの悪さ、防球ネットが低い等、安全性、機能性を大きく損なう不具合が確認される。 利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。 	
	安全性・機能性評価 ⇒ 劣	
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度。 2047 年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で 120,222,000 円。 1 年あたりでは 4,808,000 円となる。 利用料収入は増加傾向。 令和元年度利用料収入は 3,204,000 円 	
	経済性評価 ⇒ 良	
施設の方向性	改善	
耐震性	—	
施設の整備手法	機能改修	

施設 1-3	ソフトボール場
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・供用開始から30年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される。 ・グラウンドの水はけの悪さ、防球ネットが低い等、安全性、機能性を大きく損なう不具合が確認される。
	安全性・機能性評価 ⇒ 劣
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度。2046年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で78,540,000円。1年あたりでは3,272,000円となる。 ・利用料収入は安定して推移している。令和元年度利用料収入は760,000円
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	改善
耐震性	—
施設の整備手法	機能改修

施設 1-4	硬式野球場
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる。 ・利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度。2058年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で139,591,000円。1年あたりでは3,877,000円となる。 ・利用料収入は増加傾向。令和元年度利用料収入は2,947,000円
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	—
施設の整備手法	長寿命化

施設 1-5	テニスコート
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる。 ・利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費はやや大きい。テニスコートは2054年、クラブハウスは2038年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で237,303,000円。1年あたりではテニスコートが7,244,000円、クラブハウスが342,000円となる。 ・利用料収入は減少傾向にあるものの、大きい。令和元年度利用料収入は8,867,000円
	経済性評価 ⇒ 良

施設の方向性	維持
耐震性	—
施設の整備手法	長寿命化

施設 1-6	多目的グラウンド (ヤタガラスフィールド樫原)
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に劣化、不具合等は確認されない。 ・利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における他の屋外スポーツ施設と比較して修繕費は大きいが利用料収入も大きい。 ・2079年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で1,572,213,000円。 ・1年あたりでは27,582,000円となる。 ・令和元年度利用料収入は7,594,000円
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	—
施設の整備手法	長寿命化

施設 1-7	屋根付運動場
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる。 ・利用者アンケートの結果、人工芝の更新を求める意見が多い。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度。 ・2077年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で113,380,000円。 ・1年あたりでは2,061,000円となる。 ・利用料収入は増加傾向。 ・令和元年度利用料収入は1,803,000円
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 2	中央体育館
施設 2-1	アリーナ
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・供用開始から50年経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される。 ・外壁の瀑裂、雨漏り等、安全性、機能性を大きく損なう劣化が確認される。 ・全面的な補修、改修を必要とする。
	安全性・機能性評価 ⇒ 劣
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化により修繕費が多額であり、修繕を踏まえても今後の使用見込期間が短い。 ・2031年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で246,310,000円。 ・1年あたりでは27,367,000円となる。 ・収入は減少傾向にあるが、減少幅は小さい。 ・令和元年度利用料収入は1,908,000円
	経済性評価 ⇒ 劣

施設の方向性	改廃
耐震性	有
施設の整備手法	再整備又は廃止

施設 3	檀原市香久山体育館
安全性・機能性	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる。 ・体育館周辺の地盤沈下については、経過観察と対処方法の検討が必要。 <p>【アリーナ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、高くなっている。 <p>【トレーニングルーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング機器の老朽化が進んでいるが、安全性、機能性を損なうものではなく、通常の保守、修繕、更新にて保全できる。 <p>安全性・機能性評価 ⇒ 良</p>
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における他の屋内スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度。2058年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で174,705,000円。1年あたりでは4,852,000円となる。

施設 3-1	アリーナ
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入は安定して推移している。令和元年度利用料収入は1,554,000円 <p>経済性評価 ⇒ 良</p>
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 3-2	トレーニングルーム
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入は減少傾向で、減少幅も大きい。令和元年度の利用料収入は20,952,000円 平成28年度から令和元年度にかけて、利用料収入は27,817,000円から20,952,000円の範囲で増減し、減少傾向にある。 <p>経済性評価 ⇒ 劣</p>
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 4	檀原市万葉の丘スポーツ広場
施設 4-1	テニスコート
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる。 ・利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。 <p>安全性・機能性評価 ⇒ 良</p>

経済性	<ul style="list-style-type: none"> 市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度。2056年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で107,100,000円。1年あたりでは3,150,000円となる。 利用料収入は安定して推移している。令和元年度利用料収入は2,651,000円
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	—
施設の整備手法	長寿命化

施設4-2	アーチェリー・弓道（遠的）場
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 修繕費は小さいものの、利用料収入は著しく低い状況で推移している。令和元年度利用料収入は118,000円
	経済性評価 ⇒ 劣
施設の方向性	維持
耐震性	—
施設の整備手法	長寿命化

施設4-3	パターゴルフ場
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 修繕費は小さいものの、利用料収入は著しく低い状況で推移している。令和元年度利用料収入は391,000円
	経済性評価 ⇒ 劣
施設の方向性	維持
耐震性	—
施設の整備手法	長寿命化

施設5	檀原市曾我川緑地体育館
安全性・機能性	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外壁タイルの浮きが複数個所（多数）で見られる。（R3年度は、長寿命化計画に基づき、外壁改修工事に伴う設計業務を行っている） 部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる。 <p>【トレーニングルーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> トレーニング機器の老朽化が進んでいるが、安全性、機能性を損なうものではなく、通常の保守、修繕、更新にて保全できる。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 市内における他の屋内スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度。2066年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で281,783,000円。1年あたりでは6,404,000円となる。

施設 5-1	アリーナ
経済性	・利用料収入は安定して推移している。 令和元年度利用料収入は 2,337,000 円 経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 5-2	武道場
経済性	・利用料収入は安定して推移している。 令和元年度利用料収入は 1,427,000 円 経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 5-3	トレーニングルーム
経済性	・利用料収入は減少傾向で、減少幅も大きい。 令和元年度の利用料収入は 15,044,000 円 平成 28 年度から令和元年度にかけて、利用料収入は 18,173,000 円から 15,044,000 円の範囲で増減し、減少傾向にある。 経済性評価 ⇒ 劣
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 5-4	スポーツスタジオ
経済性	・利用料収入は減少傾向にあるが、減少額は小さい。 令和元年度利用料収入は 398,000 円 経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 6	曾我川緑地
施設 6-1	テニスコート
安全性・機能性	・全体的に劣化、不具合等は確認されない。 安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	・市内における他の屋外スポーツ施設と比較して今後の修繕費は中程度。 2059 年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で 59,947,000 円。 1 年あたりでは 1,620,000 円となる。 ・利用料収入は安定して推移している。 令和元年度利用料収入は 1,703,000 円 経済性評価 ⇒ 良

施設の方向性	維持
耐震性	—
施設の整備手法	長寿命化

施設 6-2	多目的グラウンド
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に劣化、不具合等は確認されない。 ・利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入は生じないが、修繕費は小さい。
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	—
施設の整備手法	長寿命化

施設 7	檀原市ひがしたけだドーム (かしはらグリーンドーム)
施設 7-1	アリーナ
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・供用開始から10年を経過し、外壁タイルの浮きをはじめ、さまざまな経年劣化が生じ始めている。 ・部分的な経年劣化や不具合が確認されるが、安全性、機能性を大きく損なうものではなく、通常の保守、修繕にて保全できる。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における他の屋内スポーツ施設と比較して修繕費は小さい。 2075年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で93,775,000円。 1年あたりでは1,769,000円となる。 ・利用料収入は安定して推移している。 令和元年度利用料収入は2,475,000円
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 8	東竹田近隣公園
施設 8-1	多目的広場
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に劣化、不具合等は確認されない。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入は生じないが、修繕費は小さい。
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	—
施設の整備手法	長寿命化

施設 9	檀原市新沢千塚公園拠点施設 (シルクの杜)
安全性・機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に劣化、不具合等は確認されない。
	安全性・機能性評価 ⇒ 良
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内における他の屋内スポーツ施設と比較して今後の修繕費はやや大きい。 2081年が建替時期となり、今後の修繕費は、概算で444,502,000円。 1年あたりでは7,533,000円となる。

施設 9-1	温浴施設
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入は安定して推移している。 令和元年度利用料収入は 22,711,000 円 ※健康づくり施設（トレーニングルーム・温浴施設）
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 9-2	トレーニングルーム
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入は安定して推移している。 令和元年度利用料収入は 22,711,000 円 ※健康づくり施設（トレーニングルーム・温浴施設）
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

施設 9-3	ダンス教室
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入は安定して推移している。 令和元年度利用料収入は 377,000 円
	経済性評価 ⇒ 良
施設の方向性	維持
耐震性	有
施設の整備手法	長寿命化

第3章 スポーツ施設の環境評価

1. スポーツ施設に関する政策方針の検討

本計画は、「檜原市第4次総合計画」を上位計画とする「檜原市公共施設等総合管理計画」やスポーツ関連の総合的な計画である「檜原市スポーツ推進計画」に基づく計画となるため、スポーツ施設全体の総合的な考え方や方針については、これらの計画によるものとします。また、検討にあたっては、檜原市のスポーツ関連施策も反映します。

■檜原市第4次総合計画（令和3年3月）抜粋

- ・本計画において、施策は4つのカテゴリに大別されており、スポーツ分野に関しては、「Iひとづくり〈活躍〉」に位置づけられている。

目指す姿

市民がさまざまなかたちでスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らしています。

成果を測る指標

日常的にスポーツに親しんでいる市民の割合 実績値：39.2%

取組例

- する
 - ・市民参加型スポーツイベントを開催します
 - ・スポーツ活動を支援します
 - ・スポーツ団体を育成・支援します
 - ・多様な広報媒体を活用し、スポーツイベントに関する積極的な情報発信を進めます
 - ・本市の立地やスポーツ環境などを活かしたスポーツの普及に取り組みます
 - ・学校体育施設を開放し、市民のスポーツ活動を推進します
 - ・トッププレイヤーなどと子ども・一般競技者などの交流の機会づくりを推進します
- 支える
 - ・地域で活躍するスポーツ推進委員や指導者などの人材育成・確保に努めます
 - ・スポーツボランティアの育成・確保に努めます
 - ・総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）の活動を支援します
- 応援する
 - ・スポーツを楽しむ機会の充実に取り組みます
 - ・スポーツ大会の誘致に取り組みます
 - ・企業スポーツクラブや民間事業者と地域団体などの交流を促進します
- スポーツ施設
 - ・予防・保守保全により、安全安心な施設を維持します
 - ・スポーツ施設の積極的かつ有効な活用を図り利用を促進します
 - ・施設を利用した健康づくりプログラムを提供します
 - ・施設を利用した学習・交流の場を提供します
 - ・民間活力も積極的に導入し、効果的・効率的な管理運営を行います
 - ・民間活力の導入など、管理運営手法について研究を進めます

■檜原市公共施設等総合管理計画（平成28年9月）抜粋

- ・本計画において、施設類型別の方針が掲げられており、スポーツ施設は次のとおり整理されている。ただし、対象とする施設は建築物のみである。

現状と課題

- スポーツ施設については、体育館を5箇所を設置しており、公共施設全体の中で延床面積の占める割合が約2.9%となっています。
- 体育館は、スポーツ・レクリエーションの拠点となっているだけでなく、災害時の避難所に指定されていますが（ひがしたけだドームを除く（※現時点では避難所に指定されています。））、飛騨体育館については耐震性が確保されていません。
- 香久山体育館と曾我川緑地体育館は、指定管理者によって運営され、スポーツジムが設置されていることもあり、利用者数は合わせて年間のべ20万人を超えています。

今後の方向性

- スポーツ施設は、計画的な維持保全により長寿命化を図るとともに、効率的・効果的な管理運営を行うため、一部の施設で導入されている指定管理者制度の効果を検証したうえで、他の直営施設においても民間の技術・ノウハウなどの積極的な活用も図り、費用負担の軽減に努めます。

■ 檜原市スポーツ推進計画 平成27～平成36年度（平成27年3月）抜粋

- ・本計画において、次のとおり、スポーツ推進に向けた中長期的な目標を設定するとともに、その実現のために実施すべき施策を示しています。

基本理念

市民のだれもがスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らせるまち「かしはら」

基本方針と施策

【基本方針1 スポーツを「する」活動の推進】

- 子どもの基礎体力向上およびスポーツ環境の充実
- 軽運動、軽スポーツ、レクリエーション活動の普及促進
- スポーツクラブや競技団体の活動支援
- 大学等との連携によるスポーツ関連事業の開催や指導者の確保
- 障がい者の運動・スポーツ活動機会の創出
- 本市が実施する健康・体力増進に関する教室・イベント等の体系的な情報提供

【基本方針2 スポーツを「支える」活動の推進】

- スポーツイベント等へのボランティアとしての参加機会の拡充
- スポーツ推進委員と健康増進や普及に携わる委員の活動機会の拡充および連携強化
- ジュニア競技者に対する指導者の育成・活用
- 高齢者、障がい者に対する指導者の育成・活用
- スポーツツーリズムに関する調査・研究等

【基本方針3 スポールを「応援する」環境整備】

- 地元輩出アスリートに関する情報提供および気運の醸成
- トップアスリートやチームを招いたスポーツ教室等の開催

【基本方針4 スポーツ活動の礎となる基盤整備】

- 施設や機材の適切な改修
 - ・市内の運動・スポーツ施設については、市民が安心、安全に運動・スポーツを楽しめるよう、老朽化した施設やスポーツ器具の補修を進めます。
- 既存の運動・スポーツ施設の有効利用の促進
 - ・既存のスポーツ施設が効率的に活用され、より多くの市民に運動・スポーツの機会を提供できるよう、ニーズに応じた運用面における改善を行います。
 - ・古くから地域住民に開放され、地域のスポーツ活動の拠点となっている小中学校の体育館やグラウンドの開放において、学校教育での利用との区分を明確にした上で、民間委

託も視野に入れて利用時間やルールの整備を行い、スポーツに親しむ機会の拡大を図ります。

2. スポーツ施設の環境に関する情報の収集・整理

対象施設の環境に関する情報の収集・整理を行い、2次評価に必要となる情報について、スポーツ施設の利用・運営等の側面から収集・整理を行いました。

[スポーツ施設の環境に関する基礎情報の収集項目]

項目	細目
利用状況	利用人数、稼働率 等
ニーズ	スポーツ環境に対する市民、利用者のニーズ、満足度 等
防災	防災計画上の位置づけ（指定避難所 等）

(1) スポーツ施設のあり方に関する市民の意見

スポーツ施設全般のあり方に関する意見を把握するため、スポーツ施設に関する市民アンケートを実施しました。実施概要と主な分析結果は次のとおりです。詳細については、検討資料編3「檀原市スポーツ施設のあり方に関するアンケート調査結果報告書」をご覧ください。

■実施概要

○目的

スポーツ施設計画を検討するにあたり、市民の皆様様のスポーツ施設のご利用実態、スポーツや健康増進に対するお考えや、今後のスポーツ施設のあり方に対するご意見について把握するために実施

○調査対象

令和3年5月1日現在、檀原市在住の満18歳以上の市民1,500人を対象

○調査期間

令和3年6月28日から令和3年7月26日まで

○調査方法

郵送により配布・回収

※スマートフォンやパソコンからインターネットを通じての回答も可

○回収状況

配 布			回 収			到達配布数 に対する 回収率
配布数	不到達数	到達配布数	回収 調査票数	うち	うち	
				郵送回答	インターネット回答	
1,500	6	1,494	540	422	118	36.1%

■主な分析結果（主なご意見）

- ・スポーツ施設の充実度については、ほとんどの施設で充実していると思う人（「十分足りている」「ほぼ足りている」「適量」の合計）が半数を超えている。加重平均を見ると、特に、「硬式野球場」、「陸上競技場」、「テニスコート」、「軟式野球場」の充実度が高くなっている。
- ・一方、屋根付運動場とプールについては、不足を感じている市民が比較的多くなっている。
- ・スポーツの活性化に必要なことについては、「スポーツ施設の数や質の充実」が最も多く、次いで「プロスポーツの観戦ができる環境の整備」、「高齢者スポーツやパラスポーツ活動の促進や環境整備」、「スポーツイベントや大会の開催」が続いており、スポーツを“する”だけでなく、“みる”環境・機会が求められるとともに、高齢者や障害者を含めて誰もが身近にスポーツに触れることができる環境が求められているといえる。
- ・スポーツ施設にとって重要なことについては、「利用料金の安さ」が最も多く、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（洋室）等）の充実」、「施設へのアクセスのしやすさ」、「駐車場・駐輪場の確保」、「スポーツ施設数の充実」が続いており、スポーツ施設を気軽に利用できるよう質の向上や、施設までの移動のしやすさ・便利さが上位に入っている。
- ・スポーツ施設を維持管理するための取組については、「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」が最も多く、次いで「施設の管理に民間のノウハウを活用する」、「ふるさと納税や寄付等を充てる」となっており、施設利用者以外から何らかの方法により収益を確保したり、施設管理を効率化することで、維持管理を続けていくと考えている人が多くなっている。
- ・スポーツ施設の数減らす場合の対応については、「老朽化が著しい施設」が最も多く、次いで「利用者の少ない施設」、「維持・管理に費用がかかる施設」、「同じようなサービスを提供する施設（公共・民間）が近隣にある施設」と続いており、施設の老朽化、利用状況、維持管理費用等の施設概要に加え、周辺の同種施設立地状況等も踏まえ、スポーツ施設のあり方を考える必要があるといえる。

（２）スポーツ施設に対する利用者の意見

個々のスポーツ施設に対する要望や今後のあり方に対する意見を把握するため、施設利用者アンケートを実施しました。実施概要と主な分析結果は次のとおりです。詳細については、検討資料編４「檀原市スポーツ施設の利用に関するアンケート調査結果報告書」をご覧ください。

■実施概要

○目的

スポーツ施設計画を検討するにあたり、市民の皆様のスポーツ施設のご利用実態、スポーツや健康増進に対するお考えや、今後のスポーツ施設のあり方に対するご意見について把握するために実施

○調査対象

市内スポーツ施設の利用者

※檀原運動公園の総合プールは、新型コロナウイルス感染症の影響により休止中のため対象外とする

○調査期間

令和3年6月29日から、各施設50票程度を回収できるまで

※利用実態により、50票回収できなかった施設もある

○調査方法

各施設の窓口にて、利用者に対してアンケート用紙を配布し、その場で回収

※臨時閉館中の中央体育館については、4月時点で施設を利用した団体に郵送にて調査票を配布し、紙面もしくはWEBのいずれかの回答とした

○回収状況

施設名	施設内容	回収数	合計
1 檀原運動公園	①総合プール	—	267
	②軟式野球場	25	
	③ソフトボール場	32	
	④硬式野球場	45	
	⑤テニスコート	50	
	⑥多目的グラウンド	49	
	⑦屋根付運動場	43	
	⑧その他（まほろば広場、園路、遊具など）	23	
2 檀原市中央体育館	①体育館（アリーナ）	50	50
3 檀原市香久山体育館	①体育館（アリーナ）	48	130 (他1、無回答4)
	②トレーニングルーム	36	
4 檀原市万葉の丘スポーツ広場	①テニスコート	28	※アーチェリー・弓道（遠的）場については、調査期間において回答を得ることができなかった。
	②アーチェリー・弓道（遠的）場	0	
	③パターゴルフ場	18	
5 檀原市曾我川緑地体育館	①体育館（アリーナ）	57	193 (他1)
	②武道場	38	
	③トレーニングルーム	49	
	④スポーツスタジオ	12	
6 曾我川緑地	①テニスコート	17	
	②多目的グラウンド	20	
7 檀原市ひがしたけだドーム	①体育館（アリーナ）	33	43
8 東竹田近隣公園	①多目的広場	10	(他1、無回答1)
9 檀原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）	①温浴施設（温水プール）	46	113 (他2)
	②トレーニングルーム	50	
	③ダンス教室	17	
		795 (805)	()は他、無回答含む

■主な分析結果

- ・利用者の年齢については、ほとんどの施設で、60歳以上の利用者が過半を占めており、利用者の年齢層が高くなっているが、橿原運動公園の多目的グラウンドや屋根付き運動場等では若い世代の利用者も多くなっている。
- ・利用頻度については、ほとんどの施設で月に一定回数利用されている方（「週に1回以上」と「月に数回程度」の合計）が6割以上を占めており、施設を定期的に利用されている方が多い。
- ・施設の満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）については、すべての施設で6割を超えており、市内のスポーツ施設について利用者から一定の評価が得られているといえる。しかしながら、一部の施設においては、付帯設備（冷暖房・シャワールーム等）や手続きのわかりやすさ・方法等について一定数の不満も確認された。
- ・今後のスポーツ施設にとって重要なものについては、施設によってばらつきがあるものの、「スポーツ施設数の充実」、「付帯設備（冷暖房・更衣室・トイレ（様式）等）の充実」、「利用料金のやすさ」、「利用手続き、料金支払い方法などの簡略化」が上位に挙がっている。
- ・スポーツ施設を維持管理するために効果的な取組については、施設によってばらつきがあるものの、「施設の管理に民間のノウハウを活用する」、「ネーミングライツや有料広告等を取り入れて収入を増やす」、「ふるさと納税や寄付等を充てる」が上位に挙がっている。
- ・スポーツ施設の数減らす場合に減らすべき施設については、「利用者の少ない施設」、「老朽化が著しい施設」、「維持・管理に費用がかかる施設」などが上位に挙がっている。

（3）スポーツ施設のあり方について各種団体等へのヒアリング実施

スポーツ施設のあり方について各種団体等へのヒアリングを実施しました。実施概要と主な意見は次のとおりです。

■実施概要

○目的

スポーツ施設計画を検討するにあたり、スポーツ関係団体のスポーツ施設のご利用実態・ご要望、今後のスポーツ施設のあり方に対するご意見について把握するために実施

○ヒアリング依頼先

- ・市内の総合型地域スポーツクラブ 3団体（事務局）
- ・奈良県障害者スポーツ指導者協議会（会長）
- ・奈良県障害者スポーツ協会（事務局）

○ヒアリング期間

令和3年8月～9月に随時実施

○ヒアリング方法

対面もしくはWEB形式にて実施

■主なご意見

（利用料金について）

- ・施設を利用するにあたり、地元割引等の措置があるとよい。

- ・利用料金も重要であるが、ある程度の水準の施設とすることも重要。適切な料金であれば、有料でも構わない。

(施設の数・内容について)

- ・奈良県では、全体的にグラウンドや本格競技用の施設が不足している。野球やサッカー等は公式戦を行う場所がないので、ぜひ整備を進めてもらいたい。球技場は、JFL 対応を見据え 5,000 人規模のものがあると良い。
- ・施設が不足しており、参加希望者を断ることもある。総合型地域スポーツクラブのミッションに反するため、運動できる場を確保していきたい。
- ・スポーツライミング、ストリートスポーツ等新たなスポーツが認知されつつある。競技に結び付くところまでは至っていないが、今後力を入れていくためには、施設が必要。
- ・屋根付きのスペースは貴重。コロナ対策としても、今後、健康トレーニング等は体育館ではなく屋根付きスペースで対応することが増えるかもしれない。
- ・橿原運動公園のヤタガラスフィールドは新しく使いやすいが、周辺に日影がない、水道、更衣室、シャワールームが遠い等の問題があり、スポーツ施設だけでなく付帯設備・機能も充実させてもらいたい。
- ・これからの施設はユニバーサルデザインが重要。身体障害者、視覚障害者等、障害に応じた対応が必要となるため、施設整備の際は当事者に直接話を聞くことも大切。障害者スポーツでは体育館やプール等のニーズが高い。
- ・施設内だけでなく、駐車場からの動線や施設内の付帯施設でのバリアフリー化も重要。

(その他)

- ・他県団体との交流等もあるため、周辺に宿泊施設があると良い。
- ・スポーツ交流やスポーツツーリズムの視点も重要になってくると思う。

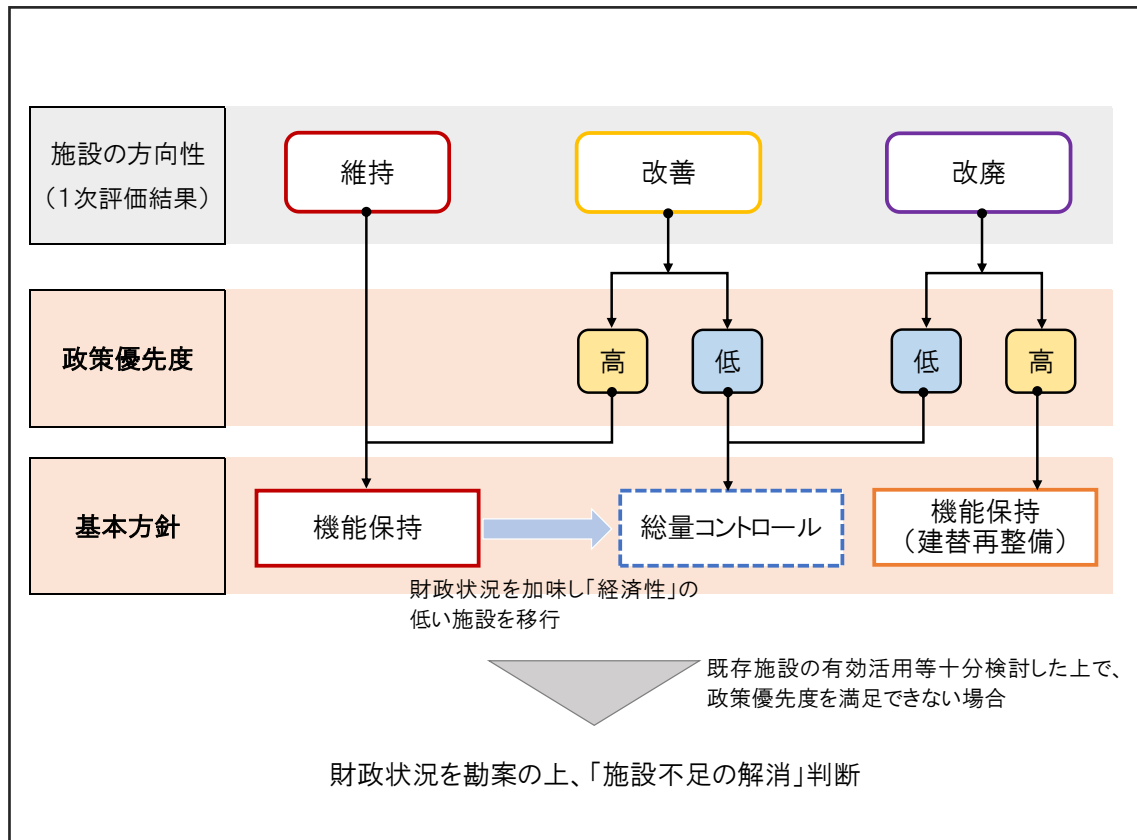
3. スポーツ施設の基本方針・適用手法に関する検討（2次評価）

収集した情報をもとにスポーツ環境を評価します。1次評価による施設の方向性にスポーツ環境の評価結果を加えて基本方針を検討しました。

（1）基本方針の概要

これまでに収集したスポーツ施設に関する情報に基づき、施設ごとに、施設の方向性（1次評価）に政策優先度を加味して基本方針を検討します。

■対象施設の基本方針の検討（2次評価）のフロー



基本方針の概要

- スポーツ環境に関する情報に基づき、対象施設ごとに基本方針を定めます。

[基本方針の概要]

基本方針	内容
(スポーツ施設としての) 機能保持	現在の施設の機能を保持する。老朽化やそれに伴う維持管理費の増加に対応できるよう、計画的な対応方針を施設ごとに検討する。老朽化が激しいものについては建替再整備の時期や方法について検討する。
総量コントロール	将来的に維持管理し続けることができない施設について、廃止や転用の時期、方法について検討する。
施設不足の解消	スポーツ施設が不足している状態である場合、利用可能なスポーツ施設を増やすことを目指す。

政策優先度の検討

- 政策優先度については、「利用状況」や「ニーズ」による定量的な評価や、スポーツに関する全体方針とスポーツ環境に関する情報に基づき、総合的に検討を行います。

[政策優先度の評価基準]

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> 施設利用が多い。 現在の施設利用者の満足度が高い。 運営や施設機能の向上により、大幅に利用状況が改善される見込みがある。 障害者スポーツが盛んに行われている。 圏域にそのスポーツの実施場所がなく、希少性が高い。 整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われている。 地域防災計画において、災害拠点や避難施設として指定されており、代替できる施設がない。 	→高
<ul style="list-style-type: none"> 施設利用が少ない、または利用が大幅に減少している。 現在の施設利用者の満足度が低い。 特定の団体が利用し、実利用者が少ない。 周辺の人口動態等を踏まえると、運営や施設機能の向上を図っても利用状況の改善の見込みがない。 整備目的や施設内容と利用実態が整合していない。 民間スポーツ施設、学校開放等の既存施設の活用により、現在の利用を代替できる。 地域防災計画において、災害拠点や避難施設としての指定されていない。もしくは、指定されているが、近隣に代替できる施設がある。 	→低

基本方針の検討

- 1次評価が「維持」となった施設は、基本方針を「機能保持」とします。
- 1次評価が「改善」もしくは「改廃」となった施設は、政策優先度の評価を行います。
- 1次評価が「改善」で政策優先度が「高」の施設は、基本方針を「機能保持」とし、引き続きスポーツ施設として使用する施設とします。政策優先度が「低」の施設は基本方針を「総量コントロール」とし、施設の削減、転用等の検討を行う施設とします。
- 1次評価が「改廃」で、政策優先度が「高」の施設については、施設の状態が悪く、改善には相当の費用がかかる可能性があるため、基本方針を「機能保持（建替再整備）」とします。政策優先度が「低」の施設については、基本方針を「総量コントロール」とし、施設の削減、転用等の検討を行う施設とします。
- 基本方針を「機能保持」とした施設であっても、地方公共団体の財政状況により、維持可能な財源確保が困難と判断された場合は、「経済性」の低い施設を優先に「総量コントロール」へ移行することができることとしました。

(3) 基本方針のとりまとめ

対象施設について、基本方針を以下のとおり整理しました。詳細については、検討資料編2「対象施設の方向性・基本方針・適用手法一覧表」をご覧ください。

No	施設名		政策優先度	基本方針	
1	橿原運動公園	総合プール (レジャープール)	低	施設の方向性は「改廃」、政策優先度は「低」の評価	総量コントロール
		総合プール (競技用プール)	低	施設の方向性は「改廃」、政策優先度が「低」の評価	総量コントロール
		軟式野球場	高	施設の方向性は「改善」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		ソフトボール場	低	施設の方向性は「改善」、政策優先度は「低」の評価	総量コントロール
		硬式野球場	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		テニスコート	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		多目的グラウンド (ヤタガラスフィールド橿原)	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		屋根付運動場	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
2	橿原市中央体育館	アリーナ	高	施設の方向性は「改廃」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
3	橿原市香久山体育館	アリーナ	高	施設の方向性が「維持」、政策優先度が「高」の評価	機能保持
		トレーニングルーム	低	施設の方向性は「維持」、経済性が「劣」、政策優先度が「低」の評価	総量コントロール
4	橿原市万葉の丘スポーツ広場	テニスコート	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		アーチェリー・弓道(遠的)場	低	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「低」の評価	総量コントロール
		パターゴルフ場	低	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「低」の評価	総量コントロール
5	橿原市曾我川緑地体育館	アリーナ	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		武道場	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		トレーニングルーム	低	施設の方向性は「維持」、経済性が「劣」、政策優先度は「低」の評価	総量コントロール
		スポーツスタジオ	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
6	曾我川緑地	テニスコート	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		多目的グラウンド	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持

No	施設名		政策優先度	基本方針	
7	橿原市ひがしたけだドーム(かしはらグリーンドーム)	アリーナ	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
8	東竹田近隣公園	多目的広場	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
9	橿原市新沢千塚公園拠点施設(シルクの杜)	温浴施設	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		トレーニングルーム	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持
		ダンス教室	高	施設の方向性は「維持」、政策優先度は「高」の評価	機能保持

【施設の基本方針 総括】

施設 1	橿原運動公園	
施設 1-1	総合プール	
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数は減少傾向で、減少幅も大きい。 平成 28 年度から令和元年度にかけて利用者数は 94,300 人から 69,700 人へ減少。 少子高齢化の進展による利用者層の減少傾向、夏季 猛暑による熱中症懸念の影響、民間屋内プール施設、プールを有するフィットネスクラブ、大規模レジャープール、屋内レジャープールなど利用者の選択肢が広がった状況にあり、総合プールの運営や施設機能の向上を図っても利用状況の改善は見込めない。 近隣に県営施設、市内に複数の民間施設(屋内温水プール)があり、現在の利用を代替することは可能と考えられる。 貴賓室は指定避難所となっている。 	
	政策優先度 ⇒	レジャープール 低 競技用プール 低
	基本方針	施設の方向性「改廃」・政策優先度「低」の評価。
	基本方針⇒	レジャープール 総量コントロール 競技用プール 総量コントロール

施設 1-2	軟式野球場	
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率は増加傾向にある。 令和元年度稼働率は 54%。 利用者数は安定して推移している。 令和元年度利用者数は 15,514 人 災害時の仮設住宅建設予定地となっている。 	
	政策優先度 ⇒	高
基本方針	施設の方向性「改善」・政策優先度「高」の評価。	
	基本方針⇒機能保持	

施設 1-3	ソフトボール場
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は安定しているが、稼働率は低い状況で推移している。 令和元年度稼働率は 23% 平成 28 年度から令和元年度にかけて稼働率は 23%から 25%の範囲で増減。 ・災害時の仮設住宅建設予定地となっている。
	政策優先度 ⇒ 低
基本方針	施設の方向性「改善」・政策優先度「低」の評価。
	基本方針⇒総量コントロール

施設 1-4	硬式野球場
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数、稼働率ともに安定して推移している。 令和元年度利用者数は 23,235 人、稼働率は 38%。 ・災害時の仮設住宅建設予定地、ヘリコプターの離着陸場に位置付けられてい。
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 1-5	テニスコート
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は減少傾向にあるが、稼働率は高い状況で推移している。 令和元年度利用者数は 26,806 人、稼働率は 98%。
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 1-6	多目的グラウンド (ヤタガラスフィールド^{橿原})
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率が高い状況で推移している。 令和元年度稼働率は 80% 令和元年度利用者数は 20,882 人 (多目的グラウンドは令和元年度 7 月供用開始)
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 1-7	屋根付運動場
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに増加傾向にある。 令和元年度利用者数は 16,331 人、稼働率は 90%。 ・災害時の支援物資荷捌き場として位置付けられている。
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 2	中央体育館
施設 2-1	アリーナ
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに安定して推移している。 令和元年度利用者数は 40,185 人、稼働率は 88%。 指定避難所となっている。
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「改廃」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 3	檀原市香久山体育館
施設 3-1	アリーナ
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに安定して推移している。 令和元年度利用者数は 18,992 人、稼働率は 74%。 指定避難所となっている。（香久山体育館）
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 3-2	トレーニングルーム
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数は減少傾向で、減少幅も大きい。 令和元年度利用者数は 54,891 人 平成 28 年度から令和元年度にかけて利用者数は 69,200 人から 54,800 人の範囲で増減し、減少傾向。 民間施設の活用により現在の利用を代替することが可能と考えられる。 市内において多種多様なニーズに応じた民間のスポーツ施設が多数営業している。
	政策優先度 ⇒ 低
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「低」の評価。
	基本方針⇒総量コントロール

施設 4	檀原市万葉の丘スポーツ広場
施設 4-1	テニスコート
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数、稼働率ともに安定して推移している。 令和元年度利用者数は 6,976 人、稼働率は 40%。
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 4-2	アーチェリー・弓道 (遠的) 場
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率は低い状況で推移している。 令和元年度稼働率は 14%。 平成 28 年度から令和元年度にかけて稼働率は 14%から 15%の範囲で増減する。 利用者が著しく少ない。 令和元年度利用者数は 270 人。 平成 28 年度から令和元年度にかけて利用者数は 230 人から 270 人の範囲で増減する。
	政策優先度 ⇒ 低
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「低」の評価。
	基本方針⇒総量コントロール

施設 4-3	パターゴルフ場
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数、稼働率ともに低く、減少傾向にある。 平成元年度利用者数は 1,078 人。 平成 28 年度から令和元年度にかけて利用者数は 1,460 人から 1,070 人の範囲で減少傾向。 令和元年度稼働率は 28%。 平成 28 年度から令和元年度にかけて稼働率は 52 %から 28%の範囲で減少傾向。
	政策優先度 ⇒ 低
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「低」の評価。
	基本方針⇒総量コントロール

施設 5	曾我川緑地体育館
施設 5-1	アリーナ
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに安定して推移している。 令和元年度利用者数は 42,133 人、稼働率は 83%。 指定避難所となっている。(曾我川緑地体育館)
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 5-2	武道場
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数は減少傾向にあるが、稼働率は高い状況で推移している。 令和元年度利用者数は 23,443 人、稼働率は 69%。 指定避難所となっている。(曾我川緑地体育館)
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 5-3	トレーニングルーム
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は減少傾向で、減少幅も大きい。 令和元年度利用者数は 46,463 人 平成 28 年度から令和元年度にかけて利用者数は 54,200 人から 46,400 人の範囲で増減し、減少傾向。 ・民間施設の活用により現在の利用を代替することが可能と考えられる。 市内において多種多様なニーズに応じた民間のスポーツ施設が多数営業している。
	政策優先度 ⇒ 低
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「低」の評価。
	基本方針⇒総量コントロール

施設 5-4	スポーツスタジオ
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率は減少傾向にあるが、利用者数は安定して推移している。 令和元年度利用者数は 5,345 人、稼働率は 27%。 ・指定避難所となっている。（曾我川緑地体育館）
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 6	曾我川緑地
施設 6-1	テニスコート
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数、稼働率ともに安定して推移している。 令和元年度利用者数は 5,982 人、稼働率は 55%。
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 6-2	多目的グラウンド
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は安定して推移している。 令和元年度利用者数は 8,663 人、稼働率は 47%。
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 7	檀原市ひがしたけだドーム (かしはらグリーンドーム)
施設 7-1	アリーナ
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率が高く、利用者数、稼働率ともに安定して推移している。 令和元年度利用者数は 16,880 人、稼働率は 75%。 ・指定避難所となっている。（ひがしたけだドーム）
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持
施設 8	東竹田近隣公園

施設 8-1	多目的広場
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の多い大型複合遊具が設置されたエリアに隣接する、公園における広場として一体的に利用されている。
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 9	橿原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）
施設 9-1	温浴施設
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は増加傾向にある。 令和元年度利用者数は 97,305 人（※健康づくり施設利用者数（トレーニングルーム・温浴施設）） ・指定避難所となっている。（シルクの杜）
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 9-2	トレーニングルーム
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は増加傾向にある。 令和元年度利用者数は 97,305 人（※健康づくり施設利用者数（トレーニングルーム・温浴施設）） ・指定避難所となっている。（シルクの杜）
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

施設 9-3	ダンス教室
政策優先度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は安定して推移している。 令和元年度利用者数は 1,825 人。 ・指定避難所となっている。（シルクの杜）
	政策優先度 ⇒ 高
基本方針	施設の方向性「維持」・政策優先度「高」の評価。
	基本方針⇒機能保持

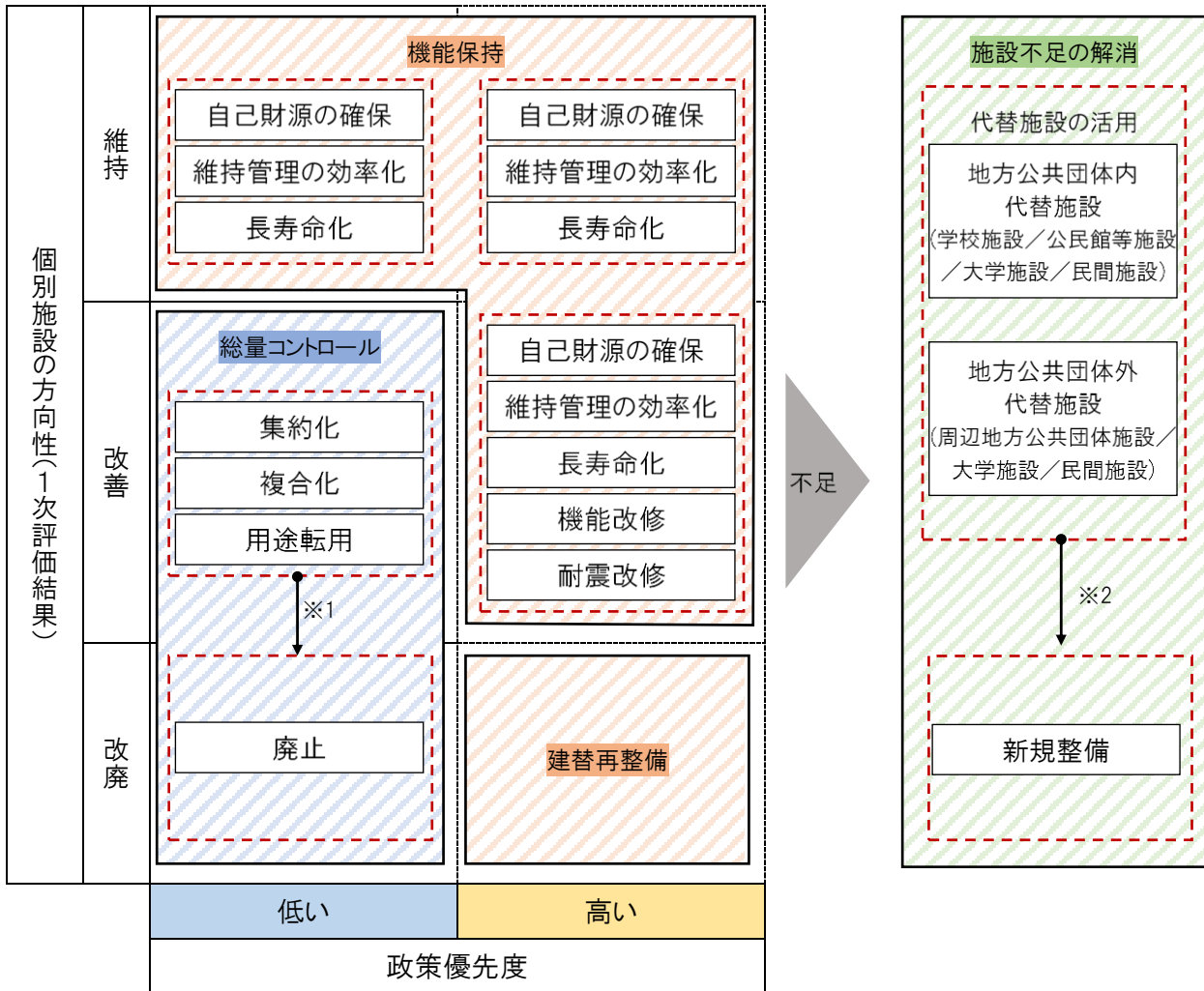
第4章 個別施設計画の検討

1. 適用可能な手法の選定

(1) 適用手法の検討

スポーツ施設の基本方針に基づき、個別施設に適用可能な手法および今後の具体的な実施内容を検討しました。適用可能な手法の検討には、1次評価と政策優先度を2軸とするマトリクスを踏まえ、施設単位ごとに手法を検討しました。

■適用手法の概要



※1 地域性（必要性やニーズ等）を勘案し、集約化・複合化・用途転用の可能性がない場合

※2 地域性を勘案し、代替施設となり得る施設が周辺に存在しない場合や代替施設を活用しても不足する場合

①スポーツ施設としての機能保持

機能保持における適用手法の考え方は下表のとおりとします。「長寿命化」「機能改修」「耐震改修」は、個別施設の方向性【1次評価】の結果に基づき選択します。

1次評価の結果から「改廃」となった施設のうち、政策優先度が高い施設については、「建替え再整備」とします。

[機能保持の適用手法]

手法	内容	想定される具体的手法
財源の確保	地方公共団体の財源以外での財源を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウが最大限発揮されるような自由度の高い指定管理制度・コンセッションを導入し、施設の収益性を高め、その収益を投資して施設の維持管理や機能更新を図る。 ・施設の利用料金の見直しや、施設の維持管理に充当する寄附や基金の設置等を行う。
維持管理の効率化	効率的な運営方法や管理方法を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者や包括管理委託等により、民間のノウハウによる効率的な管理運営を図る。 ・予約システムや窓口業務のIT化、施設管理のIT化による光熱水費等の削減を図る。
長寿命化 (計画的保全)	建物の耐用年数を定め、その期間適切な施設の保全が行われるよう計画的な対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・保全計画の策定等により保全に関する業務の効率化を図る。 ・事故等の施設に起因するリスクを回避する(予防保全)。 ・保全コストの平準化により、計画的・効率的な保全を実現し、ライフサイクルコスト(LCC)の削減を図る。
機能改修	経年劣化や社会的劣化に対応した改修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の構造体、仕上げ、設備等の経年劣化に対応した改修を行う。 ・設備システムや附帯設備(トイレ、シャワー、更衣室等)等の陳腐化、利用者ニーズの変化への対応等、社会的劣化へ対応するための改修を行う。 ・改修に当たっては施設の運営者のニーズを十分に把握し、利用者数や利用料金等による収入の増加を想定した適切な投資を行う。
耐震改修	建物の耐震性を確保するために改修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の耐震基準に対する耐震性能を満たしていない施設について、耐震改修を行う。
建替再整備	同等の機能を有する施設を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいるが政策優先度の高い施設については、建替再整備を行う。 ・この際、PPP/PFIなどの民間資金を活用した事業スキームの検討、将来の人口や財政見通しを踏まえランニングコストを想定した持続的な施設設計、運営者の収益性の確保が期待できる使いやすい施設内容検討等を通じ、将来にわたって適切なストックとなるよう十分に検討を行う。

②総量コントロール

総量コントロールにおける適用手法の考え方は下表のとおりとします。個別施設の方向性【1次評価】が改善となった施設について、「利用圏域」や「施設分布」等に基づく地域性（必要性やニーズ等）を勘案し、集約化・複合化・用途転用の可能性がない場合は、改修費をかけずに「廃止」とします。

[総量コントロールの適用手法]

手法	内容	想定される具体的手法
集約化	既存の同種の施設を統合する。	<ul style="list-style-type: none"> 同種の施設があり、利用状況や立地を踏まえて、一つに集約した場合でも、利用者ニーズを満たすことができる等、集約化の可能性がある場合には積極的に集約化を図る。 将来の維持管理の財源確保が難しい場合には、同種施設の集約化を図りつつ、集約化した施設の運営改善や機能更新により、スポーツ環境の質の低下を最小限にするよう配慮する。
複合化	スポーツ施設以外の施設の機能を有した施設と複合化する。	<ul style="list-style-type: none"> 文教施設等、周辺の公共施設の改築などとあわせて、複合化を図る。 スポーツ施設とは異なる機能を含んだ施設になるため、複合する施設の事業所管部局や財政部局等と調整する。 複合化に際しても、集約化や建替再整備と同様に、スポーツ環境の質の確保や将来にわたって適切なストックとなるよう計画する視点が重要である。
用途転用	施設を改修し、他の施設として利用する。	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設として維持していく優先度が著しく低く、改修しても利用の見込みが低い場合等で、周辺でスポーツ以外の機能が強く要請されている場合には、用途転用を検討する。 転用用途の所管部局や財政部局等と調整する。
廃止	施設を解体・撤去する。	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設として維持していく優先度が著しく低く、改修しても利用の見込みが低い場合等で、用途転用の必要性もない場合には、廃止を検討する。

③施設不足の解消

施設不足の解消における適用手法の考え方は下表のとおりとします。「利用圏域」や「施設分布」等に基づく地域性（必要性やニーズ等）を勘案し、代替施設となり得る施設が周辺に存在しない場合や代替施設を活用しても不足する場合は、「新規整備」を検討します。

[施設不足の解消の適用手法]

手法	内容	解説
地方公共団体内の代替施設の活用	地方公共団体内の学校体育施設や公民館等のスポーツに活用できる施設、大学や民間のスポーツ施設等を活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不足しているスポーツ施設の種別、種目、規模等を確認する。 ・不足するスポーツ施設の代替となり得る施設がどこにあるかを確認する。 ・学校体育施設を社会体育施設として管理を外部化し、授業や部活動の利用を優先したうえで、一般利用に開放する等、学校開放を最大限活用する。 ・公民館などをスポーツ環境として活用するには、施設の所管部局と調整の上、情報の一元化や予約システムの一体化等により利用を促進する等が考えられる。 ・民間のスポーツ施設を代替施設として活用する場合は、民間施設の管理者と調整する。例えば、施設の維持管理経費と比較して、民間施設の利用促進を行った方が効率的である場合などは、利用券の配布等を行うことも考えられる。
地方公共団体外の代替施設の活用	隣接する地方公共団体の施設や民間施設を、一般市民のスポーツ施設の環境として活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不足しているスポーツ施設の種別、規模等を確認する。 ・不足するスポーツ施設の代替となり得る施設がどこにあるかを確認する。 ・代替施設となる施設の管理者と調整する。 ・近隣の地方公共団体が所有・運営するスポーツ施設の基本情報を共有し、広域的に連携してスポーツ施設を活用する方策を検討する。例えば、協定の締結や市民利用料金の相互適用等が考えられる。
新規整備	新たに施設を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不足しているスポーツ施設の種別、規模等を確認し、既存施設や代替施設の活用を図っても適切なスポーツ環境を提供できないことが明らかである場合には、新規整備を検討する。 ・この際、PPP/PFIなどの民間資金を活用した事業スキームの検討、ランニングコストを想定し将来の人口や財政見通しを踏まえた持続的な施設設計、運営者の収益性の確保が期待できる使いやすい施設内容検討等を通じ、将来にわたって適切なストックとなるよう十分に検討を行う。

2. 個別施設計画のとりまとめ

個別施設ごとに適用可能な手法を検討するとともに、今後の施設の運用、維持管理、整備に関する行動計画を作成し、個別施設計画としてとりまとめました。詳細については、検討資料編2「対象施設の方向性・基本方針・適用手法 一覧表」をご覧ください。

■1次評価・2次評価・適用手法のまとめ

No	施設名		1次評価		2次評価	適用手法	
			施設の方向性	施設の整備手法	基本方針		
1	檀原運動公園	総合プール（レジャープール）	改廃	再整備又は廃止	総量コントロール	施設の方向性が「改廃」であり、政策優先度も「低」の評価であることから「廃止」が妥当と考えられる	廃止
		総合プール（競技用プール）	改廃	再整備又は廃止	総量コントロール	施設の方向性が「改廃」であり、政策優先度も「低」の評価であることから「廃止」が妥当と考えられる	廃止
		軟式野球場	改善	機能改修	機能保持	施設の方向性が「改善」であり、政策優先度が「高」の評価であることから、「機能改修」や「維持管理の効率化」等を図っていくことが妥当と考えられる	機能改修・維持管理の効率化
		ソフトボール場	改善	機能改修	総量コントロール	施設の方向性が「改善」であり、政策優先度が「低」の評価であることから、「集約化」を図っていくことが妥当と考えられる	集約化
		硬式野球場	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度が「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
		テニスコート	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度が「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
		多目的グラウンド（ヤタガラスフィールド檀原）	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度が「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
		屋根付運動場	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度が「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
2	檀原市中央体育館	アリーナ	改廃	再整備又は廃止	機能保持	施設の方向性が「改廃」であるが、政策優先度は「高」の評価であることから「建替再整備」が妥当と考えられる	建替再整備
3	檀原市香久山体育館	アリーナ	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度も「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
		トレーニングルーム	維持	長寿命化	総量コントロール	基本方針が「総量コントロール」である。3箇所あるトレーニングルーム機能の集約について検討する	集約化検討

No	施設名		1次評価		2次評価	適用手法	
			施設の方向性	施設の整備手法	基本方針		
4	檀原市万葉の丘スポーツ広場	テニスコート	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度も「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
		アーチェリー・弓道(遠的)場	維持	長寿命化	総量コントロール	施設の方向性が「維持」であるが、経済性が「劣」であり、政策優先度も「低」の評価であるため、公園機能を充実させるため「用途転用」を検討する。	用途転用検討
		パターゴルフ場	維持	長寿命化	総量コントロール	施設の方向性が「維持」であるが、経済性が「劣」であり、政策優先度も「低」の評価であるため、公園機能を充実させるため「用途転用」を検討する。	用途転用検討
5	檀原市曾我川緑地体育館	アリーナ	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度が「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
		武道場	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度が「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化等
		トレーニングルーム	維持	長寿命化	総量コントロール	基本方針が「総量コントロール」である。3箇所あるトレーニングルーム機能の集約について検討する	集約化検討
		スポーツスタジアム	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度が「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化等
6	曾我川緑地	テニスコート	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度も「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
		多目的グラウンド	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度も「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
7	檀原市ひがしたけだーム(かしはらグリーンドーム)	アリーナ	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度が「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化等
8	東竹田近隣公園	多目的広場	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度も「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
9	檀原市新沢千塚公園拠点施設(シルクの杜)	温泉施設	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度も「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
		トレーニングルーム	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度も「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化
		ダンス教室	維持	長寿命化	機能保持	施設の方向性が「維持」であり、政策優先度も「高」の評価であることから「長寿命化」や「維持管理の効率化」を図っていくことが妥当と考えられる	長寿命化・維持管理の効率化

【施設の適用手法 総括】

施設 1	檀原運動公園																				
施設 1-1	総合プール																				
1次評価	施設の方向性⇒レジャープール、競技用プール 改廃 施設の整備手法⇒レジャープール、競技用プール 再整備又は廃止																				
2次評価	政策優先度⇒レジャープール、競技用プール 低 基本方針⇒レジャープール、競技用プール 総量コントロール																				
適用手法	<p>レジャープール 廃止</p> <p>競技用プール 廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長きにわたり市民の皆さまに愛されてきた総合プールではあるが、慎重に検討を重ねた結果として「廃止」との判断をする。 ・総合プールの跡地利用については、駐車場整備、スポーツ施設の他、公園機能にも重点を置く新たな魅力創造拠点の創出について検討する。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度 総合プール廃止 ・2022年度～2023年度 跡地利用の検討 ・2024年度～2025年度 撤去 ・2026年度～2028年度 跡地整備 <p>※事務所棟、貴賓室は機能維持。跡地整備内容については今後検討。</p> <table border="0"> <tr> <td>◇修繕費</td> <td>10年間</td> <td>9,751千円</td> <td>30年間</td> <td>109,108千円</td> </tr> <tr> <td>◇撤去費</td> <td>10年間</td> <td>490,927千円</td> <td>30年間</td> <td>490,927千円</td> </tr> <tr> <td>◇建替費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>◆合計</td> <td>10年間</td> <td>500,678千円</td> <td>30年間</td> <td>600,035千円</td> </tr> </table>	◇修繕費	10年間	9,751千円	30年間	109,108千円	◇撤去費	10年間	490,927千円	30年間	490,927千円	◇建替費	10年間	0円	30年間	0円	◆合計	10年間	500,678千円	30年間	600,035千円
◇修繕費	10年間	9,751千円	30年間	109,108千円																	
◇撤去費	10年間	490,927千円	30年間	490,927千円																	
◇建替費	10年間	0円	30年間	0円																	
◆合計	10年間	500,678千円	30年間	600,035千円																	

施設 1-2	軟式野球場
1次評価	施設の方向性⇒改善 施設の整備手法⇒機能改修
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	<p>機能改修・維持管理効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始から30年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される。グラウンドの水はけの改善や、特に、防球ネットの高さ不足への対応が急がれる。 ・更衣室やシャワー室を施設からなるべく近い場所に整備するなど、施設利用者の満足度を高める整備を検討していく必要がある。 ・運動公園全体にわたる整備検討のなかで、更衣室やシャワー室の整備検討を継続する。 ・後述する、ソフトボール場の軟式野球場との集約化にあたっては、1つのグラウンドにおいて、同時に2ゲーム使用が可能となるようなグラウンド整備計画についても検討する。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 ・2022年度～2024年度 改修内容検討・調整 ・2024年度～2027年度 改修（防球ネット改修等）

	<p>※建替時期は未定、下記の金額は 2047 年度頃に軟式野球場を建替える場合を想定。</p> <p>※同時に 2 ゲーム使用が可能なグラウンドへの再整備を検討する。</p> <p>◇修繕費 10 年間 76,889 千円 30 年間 120,222 千円 ◇撤去費 10 年間 0 円 30 年間 101,068 千円 ◇建替費 10 年間 0 円 30 年間 336,896 千円 ◆合計 10 年間 76,889 千円 30 年間 558,186 千円</p>
--	---

施設 1-3	ソフトボール場
1 次評価	<p>施設の方向性⇒改善</p> <p>施設の整備手法⇒機能改修</p>
2 次評価	<p>政策優先度⇒低</p> <p>基本方針⇒総量コントロール</p>
適用手法	<p>集約化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始から 30 年以上経過し、全体的に老朽化による劣化が確認される。 ・機能改修が必要であること、稼働率が低いことを考慮して、ソフトボール場の機能を、軟式野球場に集約化する。 ・軟式野球場への機能集約化にあたっては、1つのグラウンドにおいて、同時に 2 ゲーム使用が可能となるようなグラウンド整備計画についても検討する。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022 年度～2029 年度 集約化検討 ・2030 年度～2031 年度 撤去（軟式野球場への集約化） <p>※軟式野球場への機能集約化を検討する（2022 年度以降、10 年前後での集約化を想定する）</p> <p>※修繕費としてはフェールポールの更新</p> <p>◇修繕費 10 年間 4,184 千円 ◇撤去費 10 年間 79,426 千円 ◇建替費 10 年間 0 円 ◆合計 10 年間 83,610 千円</p>

施設 1-4	硬式野球場
1 次評価	<p>施設の方向性⇒維持</p> <p>施設の整備手法⇒長寿命化</p>
2 次評価	<p>政策優先度⇒高</p> <p>基本方針⇒機能保持</p>
適用手法	<p>長寿命化・維持管理効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更衣室やシャワー室を施設からなるべく近い場所に整備するなど、施設利用者の満足度を高める整備を検討していく必要がある。 ・運動公園全体にわたる整備検討のなかで、更衣室やシャワー室の整備検討を継続する。 ・プロ野球基準を上回る、両翼 100m、センター122mの広さがあるが、観覧席や、照明設備を有せず、大規模な大会には活用できていない。高規格化の要望もあり、検討を続ける。

	<p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 <p>※改修や高規格化に関する検討を継続する。</p> <p>◇修繕費 10年間 41,755千円 30年間 123,285千円 ◇撤去費 10年間 0円 30年間 0円 ◇建替費 10年間 0円 30年間 0円 ◆合計 10年間 41,755千円 30年間 123,285千円</p>
--	---

施設1-5	テニスコート
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	<p>長寿命化・維持管理効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブハウス内、更衣室、シャワー室の改修など、施設利用者の満足度を高める整備を検討していく必要がある。 ・運動公園全体にわたる整備検討のなかで、更衣室やシャワー室の整備検討を継続する。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 ・2038年度 クラブハウス建替 <p>※付帯設備改修に関する検討を継続する。 ※人工芝張替は、10年を目安に一回を見込む。</p> <p>◇修繕費 10年間 79,288千円 30年間 222,938千円 ◇撤去費 10年間 0円 30年間 5,711千円 ◇建替費 10年間 0円 30年間 57,109千円 ◆合計 10年間 79,288千円 30年間 285,758千円</p>

施設1-6	多目的グラウンド(ヤタガラスフィールド檜原)
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	<p>長寿命化・維持管理効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更衣室やシャワー室を有するクラブハウスなど、施設利用者の満足度を高める整備が必要。 ・リーグ戦や大会開催時のための観客席の整備要望がある。 ・運動公園全体にわたる整備検討のなかで、クラブハウスや観客席等の整備を進める。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 <p>※クラブハウスや観客席の整備を進める。 ※人工芝張替は、10年を目安に一回を見込む。</p>

◇修繕費	10年間	275,827千円	30年間	827,481千円
◇撤去費	10年間	0円	30年間	0円
◇建替費	10年間	0円	30年間	0円
◆合計	10年間	275,827千円	30年間	827,481千円
【新規整備】				
・2024年度 クラブハウス新設				
・2025年度 観戦スタンド新設				
◇建替費	10年間	630,000千円	30年間	630,000千円
◇修繕費	10年間	0円	30年間	83,715千円
◆合計	10年間	630,000千円	30年間	713,715千円

施設 1 - 7	屋根付運動場
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	長寿命化・維持管理効率化 ・人工芝の継ぎ目部分の平坦性を保つため、定期的な保全を必要とする。 ・定期的な人工芝の張替えを想定する。 ◆スケジュール ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 ※定期的な人工芝の張替えを想定する。 ◇修繕費 10年間 20,435千円 30年間 92,945千円 ◇撤去費 10年間 0円 30年間 0円 ◇建替費 10年間 0円 30年間 0円 ◆合計 10年間 20,435千円 30年間 92,945千円

施設 2	中央体育館
施設 2 - 1	アリーナ
1次評価	施設の方向性⇒改廃 施設の整備手法⇒再整備又は廃止
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	建替再整備 ・現状の体育館の使用状況、中央体育館の持つ役割の重要性を考慮し、建替再整備を適用手法とする。なお、中央体育館は老朽化により著しく劣化した状態にあるため、10年以内に可能な限り早い時期での建替えを目指す。 ◆スケジュール ・2022年度～2023年度 建替に向けた調整 ・2024年度～2025年度 計画・設計 ・2026年度 撤去 ・2027年度 新設

◇修繕費	10年間	0円	30年間	125,555千円
◇撤去費	10年間	160,045千円	30年間	160,045千円
◇建替費	10年間	1,600,452千円	30年間	1,600,452千円
◆合計	10年間	1,760,497千円	30年間	1,886,052千円

施設 3	檀原市香久山体育館																				
施設 3-1	アリーナ																				
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化																				
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持																				
適用手法	<p>長寿命化・維持管理効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備がないため、夏場に室温が高くなる。開口部を開放すれば風が良くとおり暑さは大幅に緩和されるが、種目によっては、光と風が支障となるため、カーテンを閉め、暑さの緩和ができない状況となる。利用者アンケートの結果にもその点が現れていると考えられる。 ・構造上、空調設備を新設することを想定した造りではないため、新設の際は大規模な設備となり、財政負担が大きくなるため、現状での使用を継続とし、扇風機の配置など可能な限りの対策を実施していく。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 <p>※以下は香久山体育館全体について</p> <table border="1"> <tr> <td>◇修繕費</td> <td>10年間</td> <td>115,718千円</td> <td>30年間</td> <td>174,705千円</td> </tr> <tr> <td>◇撤去費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>◇建替費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>◆合計</td> <td>10年間</td> <td>115,718千円</td> <td>30年間</td> <td>174,705千円</td> </tr> </table>	◇修繕費	10年間	115,718千円	30年間	174,705千円	◇撤去費	10年間	0円	30年間	0円	◇建替費	10年間	0円	30年間	0円	◆合計	10年間	115,718千円	30年間	174,705千円
◇修繕費	10年間	115,718千円	30年間	174,705千円																	
◇撤去費	10年間	0円	30年間	0円																	
◇建替費	10年間	0円	30年間	0円																	
◆合計	10年間	115,718千円	30年間	174,705千円																	

施設 3-2	トレーニングルーム
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒低 基本方針⇒総量コントロール
適用手法	<p>集約化検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の香久山体育館トレーニングルーム、曾我川緑地体育館トレーニングルーム、シルクの杜トレーニングルームについて集約化も含め様々な手法を検討する。 ・検討にあたっては、民間との差別化を図ったサービス内容や運用方法、今後の利用者数の推移等を勘案しながら、慎重に検討を進める。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2023年度 集約化も含め様々な手法を検討 ・2024年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化（※検討後）

施設 4	檀原市万葉の丘スポーツ広場																				
施設 4-1	テニスコート																				
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化																				
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持																				
適用手法	<p>長寿命化・維持管理効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用手法は、「長寿命化」となるが、利用者アンケートの結果、付帯設備について、不満との回答割合が、比較的高くなっている。 ・香久山公園、万葉の丘スポーツ広場、昆虫館を一体的に捉え、公園機能に重点を置く新たな魅力創造拠点の創出について検討する。 ・クラブハウス新設など、施設利用者の満足度を高める整備についても検討する。 ・民間事業者等の資金やノウハウを一層活用することにより、施設の質の向上、利用者の利便性の向上を目指す。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 <p>※クラブハウス整備等に関する検討を継続する。 ※人工芝張替は、10年を目安に一回を見込む。</p> <table border="0"> <tr> <td>◇修繕費</td> <td>10年間</td> <td>31,500千円</td> <td>30年間</td> <td>94,500千円</td> </tr> <tr> <td>◇撤去費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>◇建替費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>◆合計</td> <td>10年間</td> <td>31,500千円</td> <td>30年間</td> <td>94,500千円</td> </tr> </table>	◇修繕費	10年間	31,500千円	30年間	94,500千円	◇撤去費	10年間	0円	30年間	0円	◇建替費	10年間	0円	30年間	0円	◆合計	10年間	31,500千円	30年間	94,500千円
◇修繕費	10年間	31,500千円	30年間	94,500千円																	
◇撤去費	10年間	0円	30年間	0円																	
◇建替費	10年間	0円	30年間	0円																	
◆合計	10年間	31,500千円	30年間	94,500千円																	

施設 4-2	アーチェリー・弓道（遠的）場																				
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化																				
2次評価	政策優先度⇒低 基本方針⇒総量コントロール																				
適用手法	<p>用途転用検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が少なく、稼働率も低いですが、一定の管理運営費は発生する状況にある。当面維持管理は継続するものの、新たな有効活用方法について用途転用も含め様々な手法を検討する。 ・香久山公園、万葉の丘スポーツ広場、昆虫館を一体的に捉え、公園機能に重点を置く新たな魅力創造拠点の創出についても検討する。 ・民間事業者等の資金やノウハウを一層活用することにより、施設の質の向上、利用者の利便性の向上を目指す。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2031年度 用途転用も含め様々な手法を検討 <p>※施設の長寿命化対策は行わない。 ※時期・撤去費・整備費については今後検討。</p> <table border="0"> <tr> <td>◇修繕費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>◇撤去費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>◇建替費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>◆合計</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>—円</td> </tr> </table>	◇修繕費	10年間	0円	30年間	—円	◇撤去費	10年間	0円	30年間	—円	◇建替費	10年間	0円	30年間	—円	◆合計	10年間	0円	30年間	—円
◇修繕費	10年間	0円	30年間	—円																	
◇撤去費	10年間	0円	30年間	—円																	
◇建替費	10年間	0円	30年間	—円																	
◆合計	10年間	0円	30年間	—円																	

施設 4-3	パターゴルフ場																				
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化																				
2次評価	政策優先度⇒低 基本方針⇒総量コントロール																				
適用手法	<p>用途転用検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が少なく、稼働率も低いが、一定の管理運営費は発生する状況にある。当面維持管理は継続するものの、新たな有効活用方法について用途転用も含め様々な手法を検討する。 ・香久山公園、万葉の丘スポーツ広場、昆虫館を一体的に捉え、公園機能に重点を置く新たな魅力創造拠点の創出についても検討する。 ・民間事業者等の資金やノウハウを一層活用することにより、施設の質の向上、利用者の利便性の向上を目指す。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2031年度 用途転用も含め様々な手法を検討 <p>※施設の長寿命化対策は行わない。 ※時期・撤去費・整備費については今後検討。</p> <table border="0"> <tr> <td>◇修繕費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>◇撤去費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>◇建替費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>—円</td> </tr> <tr> <td>◆合計</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>—円</td> </tr> </table>	◇修繕費	10年間	0円	30年間	—円	◇撤去費	10年間	0円	30年間	—円	◇建替費	10年間	0円	30年間	—円	◆合計	10年間	0円	30年間	—円
◇修繕費	10年間	0円	30年間	—円																	
◇撤去費	10年間	0円	30年間	—円																	
◇建替費	10年間	0円	30年間	—円																	
◆合計	10年間	0円	30年間	—円																	

施設 5	檀原市曾我川緑地体育館																				
施設 5-1	アリーナ																				
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化																				
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持																				
適用手法	<p>長寿命化・維持管理効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始から20年を経過し、外壁タイルの浮きをはじめ、さまざまな経年劣化が現れてくる時期であり、今後は施設の長寿命化を図るための大規模な修繕を計画し、実施していく必要がある。 <p>◆スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 <p>※以下は曾我川緑地体育館全体について</p> <table border="0"> <tr> <td>◇修繕費</td> <td>10年間</td> <td>186,642千円</td> <td>30年間</td> <td>281,783千円</td> </tr> <tr> <td>◇撤去費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>◇建替費</td> <td>10年間</td> <td>0円</td> <td>30年間</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>◆合計</td> <td>10年間</td> <td>186,642千円</td> <td>30年間</td> <td>281,783千円</td> </tr> </table>	◇修繕費	10年間	186,642千円	30年間	281,783千円	◇撤去費	10年間	0円	30年間	0円	◇建替費	10年間	0円	30年間	0円	◆合計	10年間	186,642千円	30年間	281,783千円
◇修繕費	10年間	186,642千円	30年間	281,783千円																	
◇撤去費	10年間	0円	30年間	0円																	
◇建替費	10年間	0円	30年間	0円																	
◆合計	10年間	186,642千円	30年間	281,783千円																	

施設 5 - 2	武道場
1 次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2 次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	長寿命化・維持管理効率化 ・剣道、柔道、合気道などに使用される武道場であるが、武道以外にも多様な用途での活用を検討し、稼働率の向上を図る。 ◆スケジュール ・2022 年度～2051 年度 長寿命化・維持管理効率化

施設 5 - 3	トレーニングルーム
1 次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2 次評価	政策優先度⇒低 基本方針⇒総量コントロール
適用手法	集約化検討 ・既存の香久山体育館トレーニングルーム、曾我川緑地体育館トレーニングルーム、シルクの杜トレーニングルームについて集約化も含め様々な手法を検討する。 ・検討にあたっては、民間との差別化を図ったサービス内容や運用方法、今後の利用者数の推移等を勘案しながら、慎重に検討を進める。 ◆スケジュール ・2022 年度～2023 年度 集約化も含め様々な手法を検討 ・2024 年度～2051 年度 長寿命化・維持管理効率化（※検討後）

施設 5 - 4	スポーツスタジオ
1 次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2 次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	長寿命化・維持管理効率化 ・スポーツスタジオとしての用途のみでなく、多様な用途での活用を検討し、稼働率の向上を図る。 ◆スケジュール ・2022 年度～2051 年度 長寿命化・維持管理効率化

施設 6	曾我川緑地
施設 6-1	テニスコート
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	長寿命化・維持管理効率化 ・付帯設備が充実した、曾我川緑地体育館に隣接するため、利用者満足度が比較的高い。一層の利用者満足度向上を目指す。 ◆スケジュール ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 ・人工芝張替は、10年を目安に一回を見込む。 ◇修繕費 10年間 16,202千円 30年間 48,606千円 ◇撤去費 10年間 0円 30年間 0円 ◇建替費 10年間 0円 30年間 0円 ◆合計 10年間 16,202千円 30年間 48,606千円

施設 6-2	多目的グラウンド
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	長寿命化・維持管理効率化 ・グラウンドの質の向上、日除け、ベンチ、トイレ、更衣室の設置など施設利用者の満足度を高める整備についても検討を続ける。 ◆スケジュール ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化 ※付帯設備整備等に関する検討を継続する。 ◇修繕費 10年間 9,280千円 30年間 27,840千円 ◇撤去費 10年間 0円 30年間 0円 ◇建替費 10年間 0円 30年間 0円 ◆合計 10年間 9,280千円 30年間 27,840千円

施設 7	榎原市ひがしたけだドーム (かしはらグリーンドーム)
施設 7-1	アリーナ
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	長寿命化・維持管理効率化 ・供用開始から10年を経過し、外壁タイルの浮きをはじめ、さまざまな経年劣化が生じ始めている。施設の長寿命化を図るための定期修繕を計画する必要がある。

	◆スケジュール ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化
	◇修繕費 10年間 23,670千円 30年間 70,105千円
	◇撤去費 10年間 0円 30年間 0円
	◇建替費 10年間 0円 30年間 0円
	◆合計 10年間 23,670千円 30年間 70,105千円

施設 8	東竹田近隣公園
施設 8-1	多目的広場
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	長寿命化・維持管理効率化
	・主に公園の広場として利用されている無料施設である。グラウンドゴルフでの使用もある。公園利用者も多いため、スポーツ・レクリエーション・健康増進イベント等の会場としても適性があると考えられ、効果的な活用を目指す。
	◆スケジュール ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化
	◇修繕費 10年間 2,720千円 30年間 8,160千円
	◇撤去費 10年間 0円 30年間 0円
	◇建替費 10年間 0円 30年間 0円
	◆合計 10年間 2,720千円 30年間 8,160千円

施設 9	檀原市新沢千塚公園拠点施設（シルクの杜）
施設 9-1	温浴施設
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	長寿命化・維持管理効率化
	・供用開始から5年の新しい施設ではあるが、長寿命化を図るためには、定期修繕を計画し、実施する必要がある。
	◆スケジュール ・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化
	※以下はシルクの杜全体について
	◇修繕費 10年間 112,198千円 30年間 332,304千円
	◇撤去費 10年間 0円 30年間 0円
	◇建替費 10年間 0円 30年間 0円
	◆合計 10年間 112,198千円 30年間 332,304千円

施設 9-2	トレーニングルーム
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	<p>長寿命化・維持管理効率化</p> <p>・温浴施設、トレーニングルーム、ダンス教室、浴室、市民サロン等、健康増進、交流活性化について相乗効果の高い施設構成で、施設も新しく利用者満足度が高い。一層の利用者満足度向上を目指す。</p> <p>※香久山体育館・曾我川緑地体育館のトレーニングルームの検討内容によっては、内容について再検討を実施する。</p> <p>◆スケジュール</p> <p>・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化</p>

施設 9-3	ダンス教室
1次評価	施設の方向性⇒維持 施設の整備手法⇒長寿命化
2次評価	政策優先度⇒高 基本方針⇒機能保持
適用手法	<p>長寿命化・維持管理効率化</p> <p>・温浴施設、トレーニングルーム、ダンス教室、浴室、市民サロン等、健康増進、交流活性化について相乗効果の高い施設構成で、施設も新しく利用者満足度が高い。一層の利用者満足度向上を目指す。</p> <p>◆スケジュール</p> <p>・2022年度～2051年度 長寿命化・維持管理効率化</p>

施設		2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051
権原運動公園	ソフトボール場	適用手法																													
		集約化																													
		修繕費用	4,184																												
合計 (修繕、撤去、建替、新設含む)		83,610																													
権原運動公園	硬式野球場	適用手法																													
		長寿命化・維持管理効率化																													
		修繕費用	123,285																												
合計 (修繕、撤去、建替、新設含む)		123,285																													
テニスコート	テニスコート	適用手法																													
		長寿命化・維持管理効率化																													
		修繕費用	222,938																												
合計 (修繕、撤去、建替、新設含む)		285,758																													

施設		2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051
権原運動公園	多目的 グラウンド (ヤタガラス フィールド種原)	適用手法	長寿命化・維持管理効率化																												
		長寿命化・維持管理効率化	<p>管理棟新設 335,000</p> <p>人工芝張替 265,000</p> <p>観戦スタンド新設 295,000</p> <p>人工芝張替は10年を目安に一回を見込む(2面×3回)</p> <p>管理棟定期修繕 36,515</p> <p>人工芝張替 265,000</p> <p>人工芝張替 265,000</p>																												
		修繕費用	911,196																												
		新設	630,000																												
合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)		1,541,196																													
屋根付運動場	多目的	適用手法	長寿命化・維持管理効率化																												
		長寿命化・維持管理効率化	<p>定期修繕 (人工芝張替含む) 20,435</p> <p>※ 定期的な人工芝の張替えを想定する</p> <p>大規模修繕 (人工芝張替含む) 72,510</p>																												
		修繕費用	92,945																												
		合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)	92,945																												

施設		2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051
万葉の丘スポーツ広場	テニスコート	適用手法 長寿命化・ 維持管理効率化	◆長寿命化・維持管理効率化 ※ クラフハウス整備等に関する検討を継続する ◇ 人工芝張替は10年を目安に一回を見込む(6面×2回) ◇ 人工芝張替(時期未定) 36,324																	◇ 人工芝張替(時期未定) 36,324											
		修繕費用	94,500																	94,500											
		合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)	94,500																	94,500											
アーチェリー・ 弓道(遠的)場	用途転用検討	適用手法	◆用途転用も含め様々な手法を検討 ※ 施設の長寿命化対策は行わない ※ 時期・撤去費・整備費については今後検討																												
		修繕費用	0																	0											
		合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)	0																	0											
パターゴルフ場	用途転用検討	適用手法	◆用途転用も含め様々な手法を検討 ※ 施設の長寿命化対策は行わない ※ 時期・撤去費・整備費については今後検討																												
		修繕費用	0																	0											
		合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)	0																	0											

施設	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051																
檀原市ひがしただドーム (かしはらグリーンドーム)	適用手法	◆長寿命化・維持管理効率化																																												
	長寿命化・維持管理効率化	定期修繕(人工芝張替含む) 23,670 ◆設計 ◆工事																																												
	修繕費用																	◆大規模修繕(人工芝張替含む) 46,435																												
	修繕費用																	70,105																												
	合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)																	70,105																												
施設	適用手法	◆長寿命化・維持管理効率化																																												
東竹田近隣公園	長寿命化・維持管理効率化	◆長寿命化・維持管理効率化																																												
	修繕費用																	8,160																												
	合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)																	8,160																												
施設	適用手法	◆長寿命化・維持管理効率化																																												
檀原市新沢千塚公園拠点施設 (シルクの杜)	長寿命化・維持管理効率化	◆長寿命化・維持管理効率化																																												
	長寿命化・維持管理効率化	◆長寿命化・維持管理効率化																																												
	長寿命化・維持管理効率化	◆長寿命化・維持管理効率化																																												
	修繕費用	定期修繕 112,198 ◆設計 ◆工事																																												
	修繕費用	※以下、シルクの杜全体																																												
	合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)																	332,304																												
	合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)																	332,304																												
	合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)																	332,304																												
	合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)																	332,304																												
	合計 (修繕、撤去、建替、 新設含む)																	332,304																												

第5章 スポーツ施設計画の実施について

1. 推進・取組体制

本計画の推進に当たっては、橿原市文化・スポーツ局スポーツ推進課を主管課とし、指定管理者、スポーツ関係団体等との協働、関係機関との連携とともに、庁内の推進体制を整備することも重要となるため、施設整備や管理運営部門等の庁内関係部局との連絡・調整機能の強化を図り、計画推進体制を整えていきます。

2. 情報共有

本計画は橿原市ホームページで公表します。

また、施設の管理運営に関わる費用、利用者総数の推移、事業計画については、「実施計画書」等で公表します。

多様化・高度化する市民ニーズに対応するため、分かりやすい情報提供やスポーツ施設の利用の満足度やニーズの状況を把握するとともに、市民、スポーツ関連団体等との情報交換等に取り組みます。

3. フォローアップの実施方針

本計画の進行管理は、個別施設計画の進捗状況について橿原市文化・スポーツ局スポーツ推進課により検証を行うこととし、毎年、事業進捗状況の確認や現状把握を行います。

また、国の政策、社会経済情勢、地域の人口構成及びニーズ等の変化、更には上位・関連計画の改定などに対応しながら、必要に応じて本計画の見直しを行い、PDCAサイクルによる計画の進行管理に努めます。

なお、見直しに当たっては、市民や利用者、スポーツ関係団体等の意見を反映しながら改定を行うこととします。

橿原市スポーツ施設計画

発行日 20●●年(令和●年)●月

発行・編集 橿原市 魅力創造部 文化・スポーツ局
スポーツ推進課

〒634-0075 奈良県橿原市小房町 11-5

TEL 0744-29-8019